

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	02消費生活推進事業	
細 事 業 名	01 消費生活推進事業				決算書 P.244
総 合 計 画	計 画 項 目	11 防犯・交通安全対策の推進			
	(旧計画項目)	13 防犯・交通安全対策の推進			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
6,044千円		6,311千円	267千円	95.7 %	6,526千円
目的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	○消費生活相談事業 5,784千円 消費生活センターに専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。 【開設場所】 寄り添い支援総合サポートセンター内 【相談時間】 午前9時～午後5時 【相談受付件数】 302件（販売購入：263件、事故：0件、その他：39件） 【出前講座実施回数】 38回 【消費生活セミナー開催】 第1回（6月22日）身近な製品事故・消費生活に関する寸劇（参加者 34人） 第2回（1月22日）詐欺被害者の心理・消費生活に関する寸劇（参加者 60人） ・相談員報酬等（2人） 4,504千円 ・研修旅費等 690千円 ・消費生活セミナー開催費用 139千円 ・啓発グッズ・チラシ作成費、参考図書・事務用品等購入費 237千円 ・電話、FAX料金等 107千円 ・公用車維持管理費（1台） 107千円 ○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円 【会員数（平成29年3月31日現在）】 118人 峰山 30人、大宮 21人、網野 11人、丹後 19人、弥栄 17人、久美浜 20人 【活動内容】 ・イベント、老人会・街頭等での啓発活動 ・消費生活学習会等の実施				
主な財源	府補	消費生活行政活性化事業費補助金（10/10）			4,712千円
	府補	消費生活行政活性化事業費補助金（1/2）			405千円
成果・課題	○専門相談員が、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。 ○市民への情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの啓発活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、消費トラブルに対する意識を高めることができた。 ○相談内容が複雑化しており、1件当たりの相談時間が長びく傾向がある。 ○引き続き、潜在的被害者の掘り起こしと、地域の見守りの強化が必要。				
事業所管課		健康長寿福祉部／生活福祉課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	02消費生活推進事業																						
細 事 業 名	02 多重債務相談事業				決算書	P.244																				
総 合 計 画	計 画 項 目	22 人権を尊重するまちづくり																								
	(旧計画項目)	24 人権を尊重するまちづくりの推進																								
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																						
143千円	178千円	35千円	80.3 %	178千円																						
目 的	寄り添い支援総合サポートセンター内に市民相談室、多重債務相談支援室を併設し、関係機関と連携を図りながらワンストップで相談者の支援と問題解決にあたる。																									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	日常生活で発生する問題や心配ごと、債務問題に関する身近な相談窓口として、寄り添い支援総合サポートセンター内に市民相談室、多重債務相談支援室を併設し、弁護士事務所等と連携を図りながらワンストップで相談者の支援と問題解決に当たった。																									
	○需用費（消耗品費、公用車燃料費、公用車修繕費）			99千円																						
	○役務費（携帯電話使用料、公用車保険料、公用車廃タイヤ処分料）			44千円																						
	【多重債務相談件数：19件】																									
	(内訳)																									
	・男女別		・年齢別																							
	<table><tr><td>男</td><td>11件</td></tr><tr><td>女</td><td>8件</td></tr></table>		男	11件	女	8件	<table><tr><td>20～29歳</td><td>2件</td></tr><tr><td>30～39歳</td><td>3件</td></tr><tr><td>40～49歳</td><td>4件</td></tr><tr><td>50～59歳</td><td>2件</td></tr><tr><td>60歳以上</td><td>8件</td></tr></table>			20～29歳	2件	30～39歳	3件	40～49歳	4件	50～59歳	2件	60歳以上	8件							
	男	11件																								
	女	8件																								
	20～29歳	2件																								
30～39歳	3件																									
40～49歳	4件																									
50～59歳	2件																									
60歳以上	8件																									
・町別		・対処方法																								
<table><tr><td>峰山町</td><td>6件</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>2件</td></tr><tr><td>網野町</td><td>4件</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>2件</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>3件</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>1件</td></tr><tr><td>市外</td><td>1件</td></tr></table>		峰山町	6件	大宮町	2件	網野町	4件	丹後町	2件	弥栄町	3件	久美浜町	1件	市外	1件	<table><tr><td>自己破産</td><td>9件</td></tr><tr><td>解決の助言</td><td>8件</td></tr><tr><td>任意整理</td><td>1件</td></tr><tr><td>その他</td><td>1件</td></tr></table>			自己破産	9件	解決の助言	8件	任意整理	1件	その他	1件
峰山町	6件																									
大宮町	2件																									
網野町	4件																									
丹後町	2件																									
弥栄町	3件																									
久美浜町	1件																									
市外	1件																									
自己破産	9件																									
解決の助言	8件																									
任意整理	1件																									
その他	1件																									
主 な 財 源																										
成 果 ・ 課 題	○日常生活で発生する経済的・法律的な問題など幅広く相談を受け、必要に応じて制度やサービスを紹介したり、弁護士につなげることで問題解決に向けた支援を行うことができた。 ○多重債務相談件数は減少傾向ではあるが、潜在的多重債務者の掘り起こしをする必要がある。																									
事 業 所 管 課	健康長寿福祉部／生活福祉課																									

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	50商工総務一般経費
細 事 業 名	01 商工総務一般経費			決算書 P.244
総 合 計 画	計 画 項 目	1	地域経済を担う商工業の振興	
	(旧計画項目)	1	新経済戦略による「新グリーン経済」の構築	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
6,699千円		7,181千円	482千円	93.2 % 8,244千円
目 的	商工業振興に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車等の維持管理経費			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○公用車購入費（ミニバン、箱バン 計2台） （車両購入費、自動車重量税、登録手数料、保険料等） 3,673千円 ○公用車維持管理費 2,006千円 （燃料代、車検代、修理代、保険料等） ※商工観光部管理台数：10台 ○事務用品、商工観光部共用複写機カウント料 1,020千円			
主 な 財 源	諸収入 市有自動車損害共済金			74千円
成 果 ・ 課 題	公用車の老朽化が進むなか、車両のメンテナンスや清掃などを的確に行い長寿命化を図ることが重要である。			
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	01商工会助成事業
細 事 業 名	01 商工会助成事業			決算書 P.246
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興		
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
79,260千円	79,300千円	40千円	99.9 %	80,600千円
目 的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域活性化事業等に対して補助金を交付し、商工業の総合的な振興、発展を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○小規模事業経営支援事業補助金 67,100千円			
	京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援し、商工業者の経営安定及び成長を図った。			
	・ 経営改善普及指導事業分 61,000千円			
	(小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導職員の設置費)			
	・ 地域総合振興事業分 6,100千円			
	(販路開拓、小売商業活性化、特産品づくり活動等)			
	○織物指導事業補助金 8,660千円			
	延べ2,283件の織物指導、織機調整事業を支援し、丹後織物の技術の維持・継承と製品品質の確保を図るとともに、経営環境が厳しい織物事業者の経費負担の軽減を図った。			
	○地域活性化事業補助金 3,500千円			
	地域活性化を目的とした京丹後商工祭の開催を支援した。			
		イベント名		京丹後商工祭
		補助対象者		京丹後市商工会
		補助金額		3,500千円
		補助対象経費		5,256千円
		開催日		10月29日～30日
		開催場所		丹後王国「食のみやこ」
主 な 財 源	府補	未来づくり交付金（商工会助成事業）		9,000千円
成 果 ・ 課 題	○商工会による小規模事業者への巡回指導が年間5,100件程度行われ、安定的に小規模事業者への支援活動が行われた。また、織物事業者への技術支援、産業振興に資するイベントなども実施され、厳しい経済状況下において商工業の振興に資することができた。 ○厳しい経営環境や後継者不足による廃業等が進むなか、商工会による指導等は不可欠であり、引き続き地域経済の活性化に向け支援する必要がある。			
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費		01商工費		02商工振興費		02京丹後ブランド推進事業	
細 事 業 名	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金						決算書	P.246
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興						
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額
32,379千円		32,379千円		0千円		100.0 %		32,379千円
目 的	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド商品の販売、地場産品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集・提供など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。							
	○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 32,379千円 【主な実施事業】 ・染色体験の実施（市民・観光客等207人が体験） ・地場産品の常設展示販売（482業者、2,405品目、年間売上41,299千円、対前年売上比 316千円減） ・センター開設30周年記念事業 地場産品の展示販売イベント（9/19、アミティ丹後周辺、来場者800人、出展24社） ・Tango Good Goods認定事業及び販売促進事業の実施 平成28年度認定数：50業者 81商品 「Tango Good Goods見本市」の開催：10/22～23 宮津市民体育館 来場者数 3,500人、小売店バイヤー等来場者数 26人、商談数 57件 ・各地域主催物産展、各種展示商談会・イベント等への出展 丹後のええもんうまいもん展（大阪 北千里14回、名古屋3回） 海の京都丹後のうまいもんフェア等（府内中心に四国、中国地方等32回） ・人材育成事業 講座開設（電子商取引サイト運営等） 4回 受講者10人 きもの着付教室 12回 受講者11人 染色教室 染色基礎Ⅰ 20回 受講者5人 染色基礎Ⅱ 15回 受講者5人 ・高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業 延べ利用回数123回、実利用事業者数17事業者							
主 な 財 源								
成 果 ・ 課 題	○同センターが物産展、展示商談会などに出展し地場産品のPR及び販売促進を年間通して実施したことにより、地場産業の一層の振興を図ることができた。 ○同センターが創業相談窓口を設置し、人材育成事業を拡充実施することで、市内事業者の育成等を図ることができた。 ○施設の老朽化が進むなか維持補修と更には誘客のための施設改修を検討する必要がある。							
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課						

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 推進事業	
細 事 業 名	02 京丹後ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ ｾﾚﾝｼﾞｼｮｯﾌﾟ 運営事業補助金				決算書 P.246
総 合 計 画	計 画 項 目	1	地域経済を担う商工業の振興		
	(旧計画項目)	1	新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
2,660千円		2,660千円		0千円	100.0 % 2,660千円
目 的	他市町とも連携しつつ、「特産品ｼｮｯﾌﾟ ｾﾚﾝｼﾞ丹後」を起点とした都市部における丹後の情報・魅力の発信と特産品等の販売を強化する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	丹後の情報・魅力発信拠点施設（アンテナｼｮｯﾌﾟ）である「特産品ｼｮｯﾌﾟ ｾﾚﾝｼﾞ丹後」（京都市上京区）が行う京丹後市のPR、ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ品の紹介、販売促進、販路拡大等を図るための事業運営に対し、補助金を交付した。				
	○京丹後ﾌﾞﾗﾝﾄﾞｾﾚﾝｼﾞｼｮｯﾌﾟ運営事業補助金 2,660千円				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	【実施状況等】				
	・ ｾﾚﾝｼﾞ丹後会員数 2,064人（平成29年3月末現在） ・ 購入者数 年間 延べ25,380人（前年比229人減） ・ 販売実績額 年間 20,500千円（前年比1,227千円増） 購入者数は昨年度より減少したものの、販売額は、過去5年間で最高の実績額となった。 ・ 常設店舗外での販売、PR事業（サテライト販売） KBS京都朝市（7回）、弥栄町人会総会（1回） ・ その他PR事業 1/13 会員対象「10周年記念パーティー」の実施（京都平安ホテル） 地酒試飲コーナー 焼きｾﾚﾝｼﾞ寿司を提供等（参加98人） ・ 生産者による店頭販売 4業者 44回 ・ 京都市上京区の飲食店とのB to B取引（5社） 《参考》他市町補助額 490千円（宮津市280千円、与謝野町210千円）				
主 要 な 財 源	府補 未来づくり交付金（京丹後ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ ｾﾚﾝｼﾞｼｮｯﾌﾟ 運営事業補助金）				665千円
成 果 ・ 課 題	○開設10年目を迎え、来場者数は対前年比0.9%減少したものの、生産者による店頭販売などで販売力強化に取り組んだ結果、過去最高の売上となり、市内事業者等の売上向上に寄与した（主に食品、野菜果物が中心）。 ○事業努力により販売額は伸びているが運営には補助金が欠かせず、また、平成30年度は店舗の耐震工事期間中、現店舗が使用できないため、店舗の移転（事業廃止も含めて）を検討する必要がある。				
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	04 京丹後ブランド発信事業				決算書 P.246
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
419千円		561千円	142千円	74.6 %	561千円
目的	「全国地域ブランド連携協議会」への参画により、プロモーションイベント開催や物産展への出展、情報発信等を行い、京丹後ブランドの価値とイメージの向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	平成28年度は協議会参画自治体が集まり京丹後市でブランドサミットを開催し、シンポジウムを実施した。「ひこにゃん」や「うどん県」などの国民的ブームを生んだPRプロデューサー殿村美樹氏を講師に迎え地域ブランド発信のノウハウに関する講演を開催し、併せて特産品の販売や地域ブランド等の情報発信を行った。 また、埼玉県さいたま市で量販店と連携して物産展を行い、京丹後産の食材や特産品をPRするとともに、都内観光案内所を通して観光情報の発信を行った。				
	○全国地域ブランド連携協議会会費及び事業負担金 196千円 【全国地域ブランド連携協議会活動実績】 ・全国地域ブランドサミットIN京丹後（※第8回京丹後商工祭と同時開催） 実施期間：H28.10.29（土）～H28.10.30（日） 実施場所：丹後王国「食のみやこ」 来場者数：7,600人 ・TIC TOKYO情報発信事業 東京駅隣接の観光案内所「TIC TOKYO」でパンフレット配架及び動画放映やラフォーレ倶楽部会報誌を活用して情報を発信				
	○職員旅費 223千円 ・ドン・キホーテ連携事業物産展（埼玉県さいたま市：1回） 実施期間：H29.1.21（土）～H29.1.22（日） 実施場所：メガドン・キホーテ浦和原山店 ・協議会総会（開催日：H28.6.7（火） 東京：1回）				
主な財源					
成果・課題	○都市部での物産展や情報発信を行うことにより、市内の特産品や観光資源の知名度の向上に寄与した。 ○全国地域ブランド連携協議会は平成28年度をもって解散することとなったため、他の方法で効果的に京丹後ブランドを発信していく必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																
細事業名	01 あんしん借換資金等利子補給事業				決算書 P.246															
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興																		
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築																		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
38,295千円		40,000千円	1,705千円	95.7 %	52,000千円															
目的	市内商工業者等が事業資金の返済に当たり負担した利子を対象に補給を行うことにより、市内商工業者等の資金調達を円滑にし、経営の安定化と成長の促進を図る。																			
主要な事務・事業の概要	市内商工業者等が「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」及び政府系金融機関融資制度に基づき運転資金や設備資金を借り入れ、その返済にあたり負担した利子について、借入利率のうち1.7%を超える部分（平成27年度以前の借入）又は1.8%を超える部分（平成28年度の借入）で最大2.5%分、1事業者当たり年度内100万円を限度として補給した。																			
	○京丹後市商工業経営安定利子補給金				38,295千円															
	・ 交付決定事業者数				332事業者															
	・ 交付決定融資件数				768件															
	【内訳】																			
	<table><tr><td>制度区分</td><td>交付決定融資件数</td><td>交付決定金額</td></tr><tr><td>京都府あんしん借換融資制度</td><td>370件</td><td>5,231千円</td></tr><tr><td>その他京都府融資制度</td><td>252件</td><td>30,667千円</td></tr><tr><td>京丹後市商工業振興融資制度</td><td>8件</td><td>65千円</td></tr><tr><td>政府系金融機関融資制度</td><td>138件</td><td>2,332千円</td></tr></table>					制度区分	交付決定融資件数	交付決定金額	京都府あんしん借換融資制度	370件	5,231千円	その他京都府融資制度	252件	30,667千円	京丹後市商工業振興融資制度	8件	65千円	政府系金融機関融資制度	138件	2,332千円
	制度区分	交付決定融資件数	交付決定金額																	
	京都府あんしん借換融資制度	370件	5,231千円																	
	その他京都府融資制度	252件	30,667千円																	
	京丹後市商工業振興融資制度	8件	65千円																	
政府系金融機関融資制度	138件	2,332千円																		
【過去の補給件数】																				
<table><tr><td>平成23年度</td><td>平成24年度</td><td>平成25年度</td><td>平成26年度</td><td>平成27年度</td></tr><tr><td>2,045件</td><td>1,940件</td><td>1,754件</td><td>1,362件</td><td>1,082件</td></tr></table>					平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	2,045件	1,940件	1,754件	1,362件	1,082件						
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度																
2,045件	1,940件	1,754件	1,362件	1,082件																
主な財源																				
成果・課題	○信用保証料補助制度とともに資金借入に伴う負担を軽減することにより、設備投資や運転資金の借入、また借換による有利な借入への移行や実質的な借入期間の延長が行いやすくなり、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○低金利融資の状況にあるなか、平成29年度以降の借入については利子補給の対象外とする制度改正をしたところであるが、今後も、地域の経済情勢等を見極めつつ、必要に応じ追加支援等を検討していく必要がある。																			
事業所管課		商工観光部／商工振興課																		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業				
細事業名	02 信用保証料補助金				決算書	P.246		
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興						
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築						
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額			
29,167千円		30,000千円	833千円	97.2 %	42,000千円			
目的	市内中小企業者が事業資金の借り入れに当たり負担した信用保証料を対象に補助を行うことで、市内中小企業者の資金調達を円滑にし、経営の安定化と成長の促進を図る。							
主要な事務・事業の概要	市内中小企業者が「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」に基づき運転資金や設備資金を借り入れ、負担した信用保証料について、借入額に応じ補助金を交付した。市内経済の循環が全域に行き渡っていない情勢を考慮し、平成26年度から適用している特例補助率を引き続き維持することで、需要が高い規模の借り入れに対し補助率を引き上げて投資の促進を図った。							
	○京丹後市信用保証料補助金				29,167千円			
	・交付決定件数：210件							
	業種		建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店・宿泊業	その他	合計
	H28	件数(件)	40	47	57	39	27	210
		交付額(千円)	5,240	6,552	7,561	5,647	4,167	29,167
	(参考) H27	件数(件)	56	60	75	42	27	260
		交付額(千円)	7,727	8,661	10,592	6,488	4,110	37,578
	・補助率							
	借入額		基本補助率		H28特例補助率			
100万円以内				80%				
100万円超300万円以内				70%				
300万円超500万円以内				60%				
500万円超700万円以内				50%				
700万円超1,000万円以内				40%				
1,000万円超2,000万円以内				30%				
2,000万円超				30%				
		(2,000万円相当分)		(2,000万円相当分)				
主な財源								
成果・課題	○資金借入に伴う負担を軽減することにより、設備投資や運転資金の借入、また借換による有利な借入への移行や実質的な借入期間の延長が行いやすくなり、市内中小企業者の投資の促進に資することができた。 ○地域の経済情勢等を見極めながら、市内中小企業者の資金調達を円滑にするため、交付額上限や補助率の見直しを含め、効果的な支援の在り方を検討していく必要がある。							
事業所管課		商工観光部／商工振興課						

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																						
細事業名	03 商工業支援事業				決算書 P.246																					
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興																								
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																						
10,037千円	10,160千円	123千円	98.7 %	11,187千円																						
目的	市民等が行う創業や国内外販路開拓等の新たな取組や商店街等が行う賑わいづくりのための取組を支援し、地域経済の活性化を図る。																									
主要な事務・事業の概要	○商工業支援補助金 7,477千円																									
	市民等が行う創業や空き店舗の活用、国内外販路開拓等に関する取組を支援し、商工業の振興を図った。																									
	<table><tr><th>事業内容</th><th>件数</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>創業支援事業（創業時）</td><td>5件</td><td>3,576千円</td></tr><tr><td>空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）</td><td>2件</td><td>1,821千円</td></tr><tr><td>家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）</td><td>15件</td><td>1,855千円</td></tr><tr><td>国内外販路開拓促進事業</td><td>1件</td><td>81千円</td></tr><tr><td>知的財産権取得支援事業</td><td>1件</td><td>144千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>24件</td><td>7,477千円</td></tr></table>					事業内容	件数	補助金額	創業支援事業（創業時）	5件	3,576千円	空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）	2件	1,821千円	家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）	15件	1,855千円	国内外販路開拓促進事業	1件	81千円	知的財産権取得支援事業	1件	144千円	合計	24件	7,477千円
	事業内容	件数	補助金額																							
	創業支援事業（創業時）	5件	3,576千円																							
	空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）	2件	1,821千円																							
	家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）	15件	1,855千円																							
	国内外販路開拓促進事業	1件	81千円																							
	知的財産権取得支援事業	1件	144千円																							
	合計	24件	7,477千円																							
○プレミアム商品券発行事業補助金 146千円																										
商工会が行う介護支援サービス未利用の高齢者を対象としたプレミアム商品券の発行事業を支援し、地域経済の循環促進と商店街等の振興を図った。																										
<table><tr><th>商品券発行総額</th><th>内プレミアム分</th><th>市補助金額（プレミアム分の1/3）</th></tr><tr><td>6,237千円</td><td>440千円</td><td>146千円</td></tr></table>					商品券発行総額	内プレミアム分	市補助金額（プレミアム分の1/3）	6,237千円	440千円	146千円																
商品券発行総額	内プレミアム分	市補助金額（プレミアム分の1/3）																								
6,237千円	440千円	146千円																								
○賑わい倍增商店街補助金 2,414千円																										
人々が集い「交流」する商店街づくりを推進するため、商店街が実施する誘客・賑わいづくりのための施設整備に対して、京都府と連携して支援を行った。																										
補助率：2/3（府1/3・市1/3）																										
<table><tr><th>商店街名</th><th>事業内容</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>御旅市場アーケード管理組合（峰山）</td><td>アーケード鉄骨柱等の改修</td><td>1,846千円</td></tr><tr><td>サンロードエイト会（峰山）</td><td>駐車場照明のLED化</td><td>568千円</td></tr></table>					商店街名	事業内容	補助金額	御旅市場アーケード管理組合（峰山）	アーケード鉄骨柱等の改修	1,846千円	サンロードエイト会（峰山）	駐車場照明のLED化	568千円													
商店街名	事業内容	補助金額																								
御旅市場アーケード管理組合（峰山）	アーケード鉄骨柱等の改修	1,846千円																								
サンロードエイト会（峰山）	駐車場照明のLED化	568千円																								
主な財源	府補	京都府商店街等総合振興事業費補助金（1/3）			1,207千円																					
	府補	未来づくり交付金（商工業支援事業補助金）			3,000千円																					
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金（商工業支援事業補助金）			4,000千円																					
成果・課題	○市内事業者等が行う創業、空き店舗の活用、国内外販路開拓等並びに商店街が自ら行う振興事業に対して支援を行い、市内商工業の振興及び商店街の成長促進につなげることができた。																									
	○市内で新規事業者による創業が行われるなか、創業後の事業運営が円滑に行われるよう、セミナー開催などの相談・支援体制の充実が必要となるほか、雇用計画の提出も申請条件とするなど、雇用を伴う創業を誘発する取組を検討していく必要がある。																									
事業所管課		商工観光部／商工振興課																								

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業		
細事業名	05 金融機関連携推進事業				決算書	P.246
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
131千円		200千円	69千円	65.5 %	0千円	
目的	京都北都信用金庫からの職員派遣を受け入れ、金融機関との連携協定に基づく取組の推進を図る。					
主要な 事業・ 事業の 概要	京都北都信用金庫からの職員派遣を受け入れ、地元金融機関と締結した「地域産業振興に関する連携協定書」に基づき、商工業者等の経営安定、再生及び成長支援、新規創業と新産業の創出、企業立地の推進、地域資源の活用促進に関すること等に取り組んだ。					
	○行政実務研修員人件費負担金 131 千円					
	平成28年7月～平成29年3月分 時間外勤務手当相当額			72 千円		
	平成28年4月～平成29年3月分 労災保険料相当額			59 千円		
	【派遣職員】					
	派遣元： 京都北都信用金庫					
	性別： 男性					
	期間： 平成28年4月1日から平成29年3月31日					
	配属先： 商工観光部商工振興課商工係					
	補職名： 事業推進員					
主担当： 経済、景気動向、雇用情勢調査・異業種交流、 ブランドビジネスの振興支援 ほか						
【連携事業】						
・京丹後市中小企業金融懇談会						
・市と金融機関における国・府等各種補助金の情報共有						
・ビジネス商談会開催の協力						
・市内金融機関向け補助金説明会						
主な財源						
成果・課題	○市内金融機関と連携し、互いのネットワーク等を活用して連携事業を実施することで、市内事業者の事業活動を支援することができた。 ○金融機関と日々の情報交換等により連携・協力体制を強化し、市内事業者にとって必要な支援事業を見出し実施していく必要がある。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業			
細 事 業 名	01 企業立地促進事業					決算書	P.246
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興					
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
1,130千円		1,254千円	124千円	90.1 %	3,335千円		
目的	市内における企業・工場の新増設や誘致など企業・事業立地を促進し、企業成長に伴う雇用機会の拡大等、市民生活の充実・発展と産業横断的な地域経済の活性化を図る。						
主要な事務・事業の概要	○企業訪問等立地推進活動 434千円 ・職員出張旅費及び有料道路・駐車場使用料 372 千円 ・企業情報検索システム使用料、消耗品費、燃料費 62 千円 職員等による企業・関連団体訪問、展示商談会出展等（延べ20か所） ○企業立地ガイド等の作成 238千円 企業立地ガイド（京丹後市への立地PR冊子）増刷 3,000部 ○企業誘致関連展示商談会出展経費等 378千円 次世代ものづくり基盤技術産業展「TECH Biz EXPO 2016」 平成28年11月16～18日 （名古屋市 吹上ホール） ○京都府市町村企業誘致推進連絡会議分担金 80千円 「京都府工場・研究所用地案内」、「会員市町紹介リーフレット」作成等						
主な財源							
成果・課題	○森本工業団地での用地リース制度を導入することにより、区画3・4へ市内企業の立地を実現した。 ○引き続き、森本工業団地をはじめとした市内への企業立地活動を行い、多様な就業機会の確保、創出等を促進していく必要がある。						
事業所管課		商工観光部／商工振興課					

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細 事 業 名	02 企業立地支援事業			決算書 P.246
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興		
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
17,864千円		24,200千円	6,336千円	73.8 % 26,915千円
目 的	市内における工場の新設及び増設を奨励することにより、雇用の拡大とものづくり産業の集積を促進し、本市産業の振興を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	事業所の新增設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金及び企業立地奨励金を交付した。 また、旧制度（京丹後市工場立地促進条例）の経過措置により、「指定工場」に対して、工場新增設奨励金（固定資産税納付相当額）及び雇用促進奨励金（新規地元常用雇用者1人につき40万円）を交付した。（旧制度の経過措置は、平成30年度まで。）			
	○企業立地支援事業（市民の新規正規雇用者数12人） ※指定事業所数（H28交付対象） 8事業所 ・企業立地助成金 交付件数：4件 10,400千円 ・企業立地奨励金 交付件数：5件 1,005千円 ○旧制度分（新規地元常用雇用者数7人） ・工場新增設奨励金 交付件数：4件 3,659千円 ・雇用促進奨励金 交付件数：2件 2,800千円			
主 な 財 源	府補	未来づくり交付金（企業立地支援事業）		7,000千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金（企業立地助成金）		5,000千円
成 果 ・ 課 題	○企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに雇用の拡大・安定化に寄与することができた。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金をはじめとする有利な制度のPRを行い、森本工業団地をはじめ市内への企業立地を促進していく。			
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業			
細 事 業 名	03 工業団地維持管理事業			決算書 P.246			
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興					
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築					
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額			
1,164千円	1,254千円	90千円	92.8 %	1,254千円			
目的	市内の5工業団地の維持管理を行う。						
主要な 事務・事業の概要	市内の5工業団地の維持管理のため、側溝・排水路の清掃及び法面の草刈り並びに立木の伐採等を行った。						
	【維持管理費の内訳】 単位：千円						
	団地名	面積 (㎡)	光熱 水費等	環境美化 委託料	土地 借上料	手数 料	計
	①赤坂工業団地（峰山）	63,121	56	659	—	1	716
	②清水工業団地（大宮）	28,151	—	—	—	—	—
③大山工業団地（丹後）	32,962	—	40	3	—	43	
④谷工業団地（久美浜）	61,703	—	405	—	—	405	
⑤永留工業団地（久美浜）	41,489	—	—	—	—	—	
合計	—	56	1,104	3	1	1,164	
	①赤坂工業団地の「光熱水費等」は、入口看板照明電気料 「手数料」は、倒木の可燃ごみ持込処理手数料						
	③大山工業団地の「土地借上料」は、下水道管敷設用地						
主な財源	使用料	公有財産使用料		32千円			
成果・課題	○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。 ○いずれも旧町時代に建設された工業団地であり、大きく成長した立木等を順次処理していく必要がある。						
事業所管課		商工観光部／商工振興課					

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細 事 業 名	01 需要開拓事業			決算書 P.248
総 合 計 画	計 画 項 目	1	地域経済を担う商工業の振興	
	(旧計画項目)	1	新経済戦略による「新グリーン経済」の構築	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
53,658千円		53,768千円	110千円	99.7 % 13,500千円
目 的	府と協調して織物業の生産設備導入等を支援するほか、丹後2市2町及び関連団体でつくる丹後ファッションウィーク開催委員会を支援し、織物のPRと消費拡大を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○織物業生産基盤支援事業補助金 50,158千円 交付件数：100件 ・補助対象経費 織物業及びその関連産業の生産基盤を支えるために市内で行う生産設備の新設、更新及び改良に係る経費 ・補助金額 補助対象経費の1/3以内の額（補助上限額：250万円、補助下限額：10万円） ○丹後ファッションウィーク開催委員会補助金 3,500千円 総事業費10,200千円（関係者負担：京都府2,000千円、京丹後市3,500千円、与謝野町1,500千円、丹後織物工業組合3,200千円） 【販路開拓事業】 首都圏で丹後産地単独の丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」を開催。 ・11月30日～12月1日、ヒルサイドテラス アネックスA棟（東京都渋谷区） ・商談件数175件（内新規105件）、成約件数33件 【海外ブランド招聘事業】 パリ・オートクチュールメゾンon aura tout vu Parisとのコラボ事業を実施。 ・クリエイター（2人）の丹後地域への招聘ー10月24日～28日 ・パリ・オートクチュール・コレクション（SPRING/SUMMER2017 パリコレ）での発表ー1月23日（場所：フランス パリ市庁舎ホール）、来場者（メディア、バイヤー等）約200人 【産官学連携事業】 関西圏のファッション関連校4校（専門学校、芸術大学）と連携作品制作を行った。 【丹後織物製品開発・販売促進事業】 女子美術大学と丹後の織物事業者（2社）で連携し、商品開発を行った。			
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（丹後ファッションウィーク開催委員会補助金） 875千円 繰入金 ふるさと応援基金繰入金（織物業生産基盤支援事業補助金） 15,000千円			
成 果 ・ 課 題	○織物業生産基盤支援事業補助金の交付により、織物業及びその関連産業の設備投資を促し生産基盤を支えるとともに、業界内の経済循環を促し産地の活性化に寄与することができた。 ○海外ブランドとのコラボ事業により丹後の織物が世界に発信され、デザイナーや現地プレスから高い評価を獲得し「丹後の織物」のイメージアップとブランド化につなげた。 ○首都圏での展示会や学生との交流、連携したもののづくりにより、新たな販路の開拓や未来のデザイン関係者との継続的な関係構築ができた。			
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細 事 業 名	02 和装産地振興事業			決算書 P.248
総 合 計 画	計 画 項 目	1	地域経済を担う商工業の振興	
	(旧計画項目)	1	新経済戦略による「新グリーン経済」の構築	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
2,555千円		2,602千円	47千円	98.1 % 2,959千円
目 的	市内のきもの関連業者で組織する京丹後市きもの交流会の活動及び京丹後ちりめん祭の開催を支援するほか、全国の和装産地と連携し、和装産業等の振興・発展を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○京丹後市きもの交流会補助金 13千円 【会員数】 13事業所（平成29年3月31日現在） 【事業概要】 ・京丹後ちりめん祭（4月9～10日、アミティ丹後周辺）や「坂東玉三郎京丹後特別舞踊公演」（7月2日～3日、京都府丹後文化会館）等への参画 ・きもの講演会（10月19日、アミティ丹後）、きもの着付け教室（12月15日、網野町内）の開催 ・総事業費91千円 市民等に和装に慣れ親しむ機会と和装産業の人材を育成し和装産業の振興を図った。 ○京丹後ちりめん祭補助金 2,306千円 会場設営、各種催事の開催及びステージ出演者への謝礼等に係る経費補助 【第66回京丹後ちりめん祭の概要】 ・開催日・場所：4月9日～10日 アミティ丹後周辺 ・総事業費：3,754千円 ・主な内容：きものフォトカレンダーサービス、織物の展示、呉服販売、着物レンタル着付け、お茶席、スタンプラリー抽選会ほか ○全国和装産地市町村協議会負担金（会員数：13市2町） 10千円 ・総会の開催（7月14日、京都市）、産地視察（1月25日、鹿児島県奄美市） ・シルクのまちづくり市区町村協議会と連名で国への要望活動 ○森田翁顕彰会負担金 50千円 ・丹後ちりめん始祖森田翁慰霊祭の開催（11月1日）に係る負担金 ○職員旅費等 176千円			
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（和装産地振興事業） 1,000千円			
成 果 ・ 課 題	○京丹後市きもの交流会の事業活動や京丹後ちりめん祭の開催等を通して、丹後ちりめんや着物のPRが図られ、丹後ちりめんを中心とする織物業及び関連産業の振興に寄与した。 ○きもの交流会は会員数が年々減少傾向にあるが、「丹後ちりめん創業300年」に関する活動など事業の活性化を検討し、会員数の増加を図る必要がある。 ○全国和装産地市町村協議会のさまざまな事業を通して本市のPRが図られたほか、全国の和装産地の課題や取組等について情報共有した。			
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業		
細 事 業 名	03 シルクのまちづくり事業				決算書	P.248
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興				
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
328千円		328千円	0千円	100.0 %	940千円	
目的	シルクのまちづくり市区町村協議会の活動に参画し、シルク産業の振興を図る。					
主要な 事務・事業の 概要	「シルクのまちづくり市区町村協議会」に参画し、シルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを目的に活動を行った。					
	○シルクのまちづくり市区町村協議会関係 (職員旅費) 328千円 ・総会(群馬県富岡市) ・幹事会 2回(東京都内、埼玉県さいたま市) ・組織拡大(前橋市他5市が新たに加入) ・研修事業(富岡製糸場にて視察研修を実施) ・情報発信事業(情報誌発行、ホームページ、電子メールにて情報を発信) ・政策提言・要望事業(全国和装産地市町村協議会と連名で経産省への要望活動) ・絹のみち未来サミット(3月17日～19日・群馬県富岡市)の共催 【協議会の概要】 ・自治体会員数 31市区町(平成29年3月31日現在) ・顧問 11人(ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナー等) ・協賛者等 25団体(蚕糸団体、産地織物組合、絹業関連団体ほか)					
主な 財源						
成果・課題	○群馬県富岡市で開催された「シルクのまちづくり市区町村協議会」の総会に出席し、会員同士の情報を共有することができた。 ○関東経済産業局・絹のみち広域連携プロジェクトの「絹のみち未来サミット～絹のみちから絹の国へ～」を共催し、他団体との連携が活発となる機会を創出した。 ○シルク産業の振興を図るため、今後も引き続きシルクに関わる自治体や関係機関と連携していく必要がある。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業	
細 事 業 名	04 織物業実態統計調査事業				決算書 P.248
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,559千円	1,738千円	179千円	89.7 %	1,738千円	
目的	市の施策の基本資料を得るため、市内の織物事業者を対象に織物業実態統計調査を実施し政策への反映を図る。				
主要な事務・事業の概要	市内の織物事業者の経営・生産形態等を把握し、織物業の振興政策等の検討、立案に反映させるため、市内すべての織物事業者を対象に本市独自の織物業実態統計調査を実施した。				
	○調査員謝金 168 千円 ○需用費 65 千円 ・事務用品費 13 千円 ・印刷製本費 52 千円 ○事務補助業務人材派遣委託料 1,326 千円 【平成28年度織物業実態統計調査の概要】 ・調査基準日 平成28年6月1日 ・調査事業所数 1,121事業所 ・調査方法 国の「経済センサス活動調査」に併せて実施 ・調査員数 60人 ・調査員謝礼単価 1件につき150円 ・調査項目 経営実態、生産形態、従業者数、後継者の有無 経営規模の見通し、生産状況、織機保有台数等 ・集計及び結果の公表 報告書を作成し関係団体等に配布（報告書300部作成）				
主な財源					
成果・課題	○本調査の実施により市内織物業者の経営実態など、今後の施策の検討・立案に必要な基礎資料を得ることができた。 ○引き続き定期的な調査を行い、織物業の振興に資する施策等を検討していく必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目		07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細 事 業 名		05 新シルク産業創造事業			決算書 P.248
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
15,165千円		15,682千円	517千円	96.7 %	25,402千円
目的	地域再生計画に基づき、新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し雇用の創出、拡大を目指す。				
主要な事務・事業の概要	閉校した旧溝谷小学校の施設を活用し、無菌周年養蚕及び高機能性シルクの基礎研究拠点として整備した新シルク産業創造館で無菌周年養蚕を開始した。 ○無菌周年養蚕 9,442千円 ・蚕種、人工飼料代 2,192千円 ・消耗品（消毒用薬品、普及啓発用消耗品等） 1,140千円 ・光熱水費（空調設備電力代等） 6,110千円 ○施設整備 2,004千円 ・修繕料（水道管漏水対応など） 267千円 ・グラウンドフェンス等撤去工事 888千円 ・グラウンド雑木伐採 849千円 ○施設運営 2,563千円 ・公用車ガソリン代、定期点検料 153千円 ・通信運搬費 473千円 ・保険料、手数料（公有建物共済分担金等） 83千円 ・新シルク産業創造館オープニングセレモニー用資材レンタル 270千円 ・クリーンルーム殺菌等 432千円 ・設備消耗品交換（加湿器蒸気シリンダ） 798千円 ・機械警備、保守点検料 354千円 ○職員研修旅費等 1,156千円 ・職員研修旅費（京都工芸繊維大学への研修に伴う旅費含む） 1,044千円 ・公用車出張に伴う有料道路通行料、駐車場使用料 112千円				
主な財源	国補 地方創生推進交付金 6,156千円				
成果・課題	○新シルク産業創造館の適切な管理と設備の習熟を図り、約8万頭の蚕を飼育した。 ○大学等の研究機関と連携し、現有施設における大量飼育に向けた飼育工程のマニュアル化等、飼育技術確立するための研究を進める必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目		07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細 事 業 名		05 新シルク産業創造事業（繰越）			決算書 P.250
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
179,503千円		191,543千円	12,040千円	93.7 %	191,543千円
目的	地域再生計画に基づき、新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し雇用の創出、拡大を目指す。				
主要な事務・事業の概要	無菌周年養蚕及び高機能性シルクの基礎研究拠点として、閉校した旧溝谷小学校の施設を活用することとし、平成27年度に行った蚕飼育棟の整備に引き続き、研究室棟の整備及び各種備品類の購入を行った。 (1) 旧溝谷小学校施設整備（第2期：研究室棟） 174,730千円 ・建築主体工事 84,704千円 ・機械設備工事 36,803千円 ・電気設備工事 46,171千円 ・屋内消火栓修繕工事 864千円 ・工事監理業務委託料 6,188千円 (2) 備品類の購入 4,773千円 ・カーテン一式 620千円 ・スチールラック3台（予備棚板11枚） 355千円 ・熱シール機（人工飼料保存ゼロハン用）1台 405千円 ・オフィス家具類1式 2,891千円 - フラップテーブル20台、会議テーブル12台、スタッキングチェア80脚、スタッキングチェア用台車3台、丸椅子60台、メモ台付折り畳み椅子40脚、オフィスチェア7台、足付ホワイトボード4台 ・ノートPC1台 122千円 ・その他小規模備品類 380千円 - 自動収穫毛羽取機1台、ステンレス作業台3台、業務用掃除機1台、複合プリンター1台、小型動力噴霧器1台、ホワイトボード1台				
主な財源	国補 地域再生戦略交付金 179,503千円				
成果・課題	無菌周年養蚕及び高機能性シルクの基礎研究に必要な施設・設備及び備品類の整備を行い、研究拠点を整備することができた。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ事業
細 事 業 名	01 起業アイデアコンペ開催事業			決算書 P.250
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興		
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
902千円		932千円	30千円	96.7 % 1,163千円
目 的	地域資源を活用した大学生発案の起業アイデアをもとに、京丹後発の新たなビジネスを創造し、商工業の活性化を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	京都工芸繊維大学をはじめとする京都府内5大学の学生を対象に、起業アイデア発案のために8月にオリエンテーション（1泊2日）を実施し、京丹後市の地域資源を把握。その後は本事業の委託先である京都工芸繊維大学がアイデアを募集し、一次審査を通過した8件により京丹後キャンパスでコンペティションを行った。 ○起業アイデアコンペ開催経費 902千円 ・コンペ入賞賞金 340千円 優秀賞150千円×1、優良賞100千円×1、佳作30千円×2、入選10千円×3 ※民間団体（錦織米市翁顕彰会）より、別途最優秀賞200千円の協賛あり ・参加賞（図書券10千円分×8件） 80千円 ・コンペ企画運営委託料（委託先：京都工芸繊維大学） 368千円 ・バス運転委託料 60千円 ・バス燃料代 16千円 ・有料道路通行料 29千円 ・職員旅費 9千円 ※対象大学：京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学、京都ノートルダム女子大学、京都産業大学 ＜平成28年度起業アイデアコンペティション結果＞ 最優秀賞 丹後ちりめんで生活を彩るためのマスキングテープ「tayori」（京都工芸繊維大学） 優秀賞 丹後のお米で最幸のおにぎりを。「TANG〃O〃NIGIRI」～丹後産コシヒカリと具の詰め合わせ～（京都工芸繊維大学）			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○京丹後市の地域資源を活用した斬新な起業（事業）アイデアについて、15件の応募があり、一次審査を通過した8件のうち2件が事業化に向けて市内事業者が開発を検討することとなった。 ○これまで発案された学生のアイデアを平成29年度から一般公開しており、市内事業者によるアイデアの事業化の支援等を行っていく必要がある。			
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コ-ディネ-ト事業	
細 事 業 名	02 産学連携推進事業				決算書 P.250
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
20千円	117千円	97千円	17.0 %	117千円	
目 的	大学と市民や市内事業者を結び付けるコーディネートを行うとともに、京都工芸繊維大学地域連携センターの維持管理等を行い、市内産業の振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○職員旅費（京都工芸繊維大学との連携事業に関する協議） 7千円				
	○京都工芸繊維大学地域連携センター駐車場内消雪装置の管漏水修理 13千円				
	※京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の利用状況 ・利用回数：53回 ・延べ利用人数：1,170人				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	京都工芸繊維大学地域連携センターを拠点とした各種産学連携事業を進めることにより、相互の人的、物的、知的交流を通じて、人材育成や企業の活性化などにつなげた。				
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	08工業用地造成事業特別会計繰出金																
細 事 業 名	01 工業用地造成事業特別会計繰出金			決算書 P.250																
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興																		
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築																		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																
183,900千円		183,900千円	0千円	100.0 % 183,900千円																
目 的	森本工業団地造成事業に係る地方債償還金について、一般会計から工業用地造成事業特別会計に繰り出す。																			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○工業用地造成事業特別会計繰出金（公債費元利償還分） 183,900千円																			
	※繰出金算出根拠																			
	187,148 - 3,180 = 183,968 ⇒ 183,900千円																			
	(元利償還金) (不動産貸付収入) (10万円未満切捨て)																			
	平成28年度工業用地造成事業特別会計の決算概要																			
	※不動産貸付収入（工場用地貸付料／区画3・4） 3,180千円																			
	<table><tr><td colspan="2">決算区分</td><td>決算額</td><td>決算額計</td></tr><tr><td colspan="2">需用費</td><td>26千円</td><td rowspan="4">187,309千円</td></tr><tr><td colspan="2">委託費</td><td>135千円</td></tr><tr><td rowspan="2">公債費</td><td>元金</td><td>180,928千円</td></tr><tr><td>利子</td><td>6,220千円</td></tr></table>				決算区分		決算額	決算額計	需用費		26千円	187,309千円	委託費		135千円	公債費	元金	180,928千円	利子	6,220千円
	決算区分		決算額	決算額計																
	需用費		26千円	187,309千円																
	委託費		135千円																	
公債費	元金	180,928千円																		
	利子	6,220千円																		
主 な 財 源																				
成 果 ・ 課 題																				
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課																		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	09人材育成事業
細 事 業 名	01 人材育成事業			決算書 P.250
総 合 計 画	計 画 項 目	1	地域経済を担う商工業の振興	
	(旧計画項目)	1	新経済戦略による「新グリーン経済」の構築	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
9,048千円		9,049千円	1千円	99.9 % 9,442千円
目 的	「丹後・知恵のものづくりパーク」における事業の円滑な実施と適切な施設運営を推進するとともに、各種取組により次世代に向けたものづくり産業の振興を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	公益財団法人京都産業21（北部支援センター）が、「丹後・知恵のものづくりパーク」で行う人材育成研修及び施設管理運営に係る費用の一部を負担することにより、同パークの適正な施設管理運営を推進するとともに、事業活動を行う上で必要となる知識、技術等を地元企業の従業員等に習得させるための研修事業を実施した。 また、機械金属及びシルク分野における新分野挑戦に向けた企業セミナーを開講したほか、ポータルサイトを運営し人材育成に関する情報の一元化及び発信強化に努めた。 ○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成事業 8,733千円 ・管理運営負担金 7,233千円 ・人材育成研修事業負担金 1,500千円 創業をめざす方のためのセミナー 3回開催 受講者数：延べ21人 若手社員育成セミナー 2回開催 受講者数：延べ26人 女性リーダー育成セミナー 4回開催 受講者数：延べ48人 生産管理研修 2回開催 受講者数：延べ28人 ○挑戦型企業セミナー開講委託料 250千円 企業の新たな分野進出への挑戦を促すため、機械金属及びシルク分野におけるセミナーを計2回、京都工芸繊維大学に委託して開講した。（受講者数：延べ72人） 第1講 機械金属関連「京都工芸繊維大学見学ツアー」 第2講 シルク関連「京丹後市新シルク産業創造館から創出する新素材」 ○京丹後市産業人材育成ポータルサイト管理運営委託料 65千円 （委託先：職業訓練法人丹後地域職業訓練協会）			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○市内企業の競争力強化のため、「丹後・知恵のものづくりパーク」における適切な施設運営と、ものづくり人材育成や地域中小企業への経営・技術の総合支援等の各種事業の円滑な実施に資することができた。 ○今後の事業展開の参考とするため、挑戦型企業セミナーの開講により、地元企業に対し業界の新たな動向や大学の持つ技術シーズ等の紹介を行うことができた。			
事 業 所 管 課	商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジネス創出事業
細 事 業 名	02 京丹後型ワークスタイル創出事業			決算書 P.250
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興		
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
7,250千円		23,714千円	16,464千円	30.5 % 13,568千円
目 的	都市部企業を誘致するため、テレワークやサテライトオフィスを活用した京丹後型ワークスタイルを創造するとともに、総務省モデル事業を通し、誘致戦略を策定する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	丹後地域地場産業振興センター内に整備した「京丹後ふるさとテレワークセンター」への起業支援及び企業誘致並びに誘致企業に対する支援を同センターへの委託事業として実施した。			
	また、総務省の「お試しサテライトオフィス事業」の採択を受け、都市部企業を誘致し、サテライトオフィスを活用して本来の業務を行うことに合わせ、当市で就労人口の減少が懸念される農業や観光業などにおいても、その労働力を生かした新しい就労モデル「デュアルワーク」（農業×テレワーク、観光×テレワーク）を提案し、地方における新しい働き方の創出を実証・検証する。			
	○京丹後型ワークスタイル創造推進業務委託料			5,000千円
	平成27年度に丹後地域地場産業振興センター内に整備した京丹後ふるさとテレワークセンターでの起業支援及び企業誘致並びに誘致企業の支援に関し、同センターに委託した。			
	・事業推進員：2人（元新聞社社員、元会社営業社員）			
	・訪問等アプローチ企業数：年間延べ56社（再訪問等を含む）			
	○総務省「お試しサテライトオフィス事業」			2,250千円
	・京丹後型ワークスタイル創造推進業務委託料			
	委託先：丹後地域地場産業振興センター			
	事業推進員：1人（元地方公務員）1,388千円			
主 な 財 源	・移住交流フェア等（東京、大阪）への出張旅費 107千円			
	・消耗品費 245千円			
	・テレワークセンター会場借上げ及び通信回線リース料 510千円			
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額		7,250千円
		実質的な執行率		100%
	■平成29年度への繰越事業			
	お試しサテライトオフィスモデル事業（平成29年9月完成予定）			16,463千円
	府補	未来づくり交付金（京丹後型ワークスタイル創造推進業務委託料）		
				2,300千円
	成 果 ・ 課 題	○サテライトオフィスの概念が社会一般に浸透していない中ではあるが、将来的に設置を前向きに検討している企業との連絡を重ね、そのうち1社が市内に営業所を設置した。		
○サテライトオフィスへの事業誘致において、単に「都市部の企業が地方にオフィスを分散化させる」という考えのみでは、そのインセンティブが働きづらい現状があり、総務省の「お試しサテライトオフィス事業」を活用して、効果的な支援策や誘致戦略を策定する必要がある。				
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用イノベーション創出事業						
細 事 業 名	03 地域経済循環創造事業（繰越）			決算書 P.252						
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興								
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築								
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額						
50,000千円		50,000千円	0千円	100.0 % 50,000千円						
目 的	市内の事業者が行う地域活性化に資する取組に対して支援することにより、地域経済の循環及び活性化を図る。									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○地域経済循環創造事業補助金 50,000千円									
	市内の事業者が地域金融機関などと連携して実施する取組について、国が実施する交付金事業を活用して支援し、地域経済の循環及び活性化を図った。									
	<table><tr><th>事業内容</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>新たな宿泊施設を建設し、丹後地域の観光事業の特徴であった「二季型集客」から「四季型集客」へ改善することにより、地域経済波及効果及び売上拡大を図る。</td><td>136,120千円</td><td>50,000千円</td></tr></table>				事業内容	事業費	補助金額	新たな宿泊施設を建設し、丹後地域の観光事業の特徴であった「二季型集客」から「四季型集客」へ改善することにより、地域経済波及効果及び売上拡大を図る。	136,120千円	50,000千円
	事業内容	事業費	補助金額							
新たな宿泊施設を建設し、丹後地域の観光事業の特徴であった「二季型集客」から「四季型集客」へ改善することにより、地域経済波及効果及び売上拡大を図る。	136,120千円	50,000千円								
※ 対象者：旅館業 建設場所：丹後町間人地内										
主 な 財 源	国補 地域経済循環創造事業交付金（10/10）			50,000千円						
成 果 ・ 課 題	○市内の事業者が地域金融機関などと連携して実施する地域経済の循環を図る取組について、その初期投資に対して支援し、市内商工業の振興及び地域経済の活性化を図った。 ○事業終了後においても関係機関と連携し、取組が円滑に進められるような相談体制を整備し、事業計画に沿った経営が行われているか確認するなどのフォローアップが必要となる。									
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課								

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	50商工振興一般経費		
細事業名	01 商工振興一般経費				決算書	P.252
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,187千円		1,208千円	21千円	98.2%	2,825千円	
目的	地域産業の活性化を図るために活動している団体に対し、その活動を支援するとともに、各種事業の実施により商工振興を図る。					
主要な事務・事業の概要	地域産業の活性化を図るため、産業イベント実施団体に対し支援を行った。 ○おおみや生き生きフェスタ産業文化祭開催費補助金 562千円 「薫る文化・伸びゆく産業」をコンセプトとして実施した「おおみや生き生きフェスタ2016」(産業文化祭)への支援を行った。 開催日：11月6日(日) 来場者数：約3,500人 ○出張旅費(職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等) 568千円 ○事務費(事務用品費、新聞購読料、切手等) 57千円					
主な財源						
成果・課題	地域産業の活性化に寄与するため、団体による産業イベント開催を支援した。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	03商工施設費	01峰山織物センター管理運営事業	
細 事 業 名	01 峰山織物センター管理運営事業				決算書 P.252
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
3,596千円	3,754千円	158千円	95.7 %	3,442千円	
目的	峰山織物センターを管理運営することで、市内の織物関係者の知識、技能の修得及び新製品等の研究開発を助長し、併せて福祉の増進を図る。				
主要な事務・事業の概要	市民に安全で快適に施設を利用いただくため、良好で効率的な管理運営を行った。				
	○延べ利用人数		10,791人		
	○管理運営費		3,596千円		
	・ 宿日直代行業務委託料		1,482千円		
	・ 電気代、上下水道使用料		1,046千円		
	・ 機械警備委託料、消防設備点検委託料等		104千円		
	・ 土地借上料（施設分186千円、駐車場分272千円）		458千円		
	・ 不動産鑑定委託料（センター借地、土地購入準備）		156千円		
	・ 消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料等		282千円		
	・ 電話代		47千円		
・ 公有建物共済分担金、テレビ受信料等		21千円			
○利用目的別利用件数		(単位：件)			
会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計
140	60	73	330	256	859
○部屋別利用件数		(単位：件)			
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計	
483	110	25	241	859	
主な財源	使用料	公有財産使用料			152千円
	使用料	峰山織物センター使用料			159千円
成果・課題	職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、各種活動の推進に寄与した。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	03商工施設費	02商工施設指定管理運営事業	
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.252	
綜 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額	
4,638千円		4,641千円	3千円	99.9 % 3,148千円	
目 的	市内の商工関連公共用施設の適正な管理運営を行い、施設利用者の利便性の向上及び商工業の振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	大宮織物ホール、丹後商業活性化センター及び弥栄機業センターの各施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を行った。				
	【事業費の内訳】 単位：千円				
	区分	大宮織物ホール	丹後商業活性化センター	弥栄機業センター	計
	所在	大宮町	丹後町	弥栄町	
	利用者数	6,133人	— (貸館業務なし)	2,794人	8,927人
	指定管理料	2,730 (不採算施設)	0 (採算施設)	0 (採算施設)	2,730
	修繕料	0	254 (風害による軒天井修繕)	0	254
	火災保険料	13 (公有建物共済分担金)	64 (公有建物共済分担金)	6 (公有建物共済分担金)	83
	土地借上料	846 (建物及び駐車場用地)	0	0	846
	手数料	0	21 (風害による空調室外機撤去)	0	21
	工事請負費	704 (国道拡幅に伴う屋外灯移転等)	0	0	704
	合計	4,293	339	6	4,638
主 な 財 源	使用料	公有財産使用料		1,060千円	
	諸収入	大宮織物ホール電気料		283千円	
	諸収入	一般府道大宮岩滝線地方道路交付金工事に係る損失補償金		660千円	
成 果 ・ 課 題	市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。				
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	03商工施設費	50商工施設一般経費	
細 事 業 名	01 商工施設一般経費				決算書 P.254
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
527千円	532千円	5千円	99.0 %	532千円	
目 的	商工業の振興に資する商工関連施設の維持管理を行う。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○商工施設維持管理経費				527千円
	・ 御旅市場商店街駐車場外灯電気代 (旧小谷医院跡地)				5千円
	・ あしぎぬ苑 (弥栄町) 水道料、閉栓手数料 (夏季のみ使用)				9千円
	・ あしぎぬ苑 (弥栄町) 管理委託料 (委託先：鳥取老人会)				52千円
	・ 弥栄機業センター (指定管理部分除く) 電気代等負担金				6千円
	・ 丹後商業活性化センター (指定管理部分除く) 裏公衆トイレ管理委託料				455千円
主 な 財 源	諸収入	弥栄機業センター光熱水費負担金			6千円
成 果 ・ 課 題	商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。				
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	01観光協会等支援事業	
細事業名	01 観光協会等支援事業				決算書 P.254
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
42,058千円		42,058千円	0千円	100.0 %	47,300千円
目的	京丹後市の観光について総合的な振興を図り、地域一体となった観光を推進するため、京丹後市観光協会（海の京都DMO京丹後地域本部）の活動を支援する。				
主要な事業・事業の概要	第2次京丹後市観光振興計画に基づき、地域特性と地域観光資源を活かした「顧客誘致戦略プロジェクト」をはじめ、観光情報センター運営、誘客促進活動事業、広告宣伝事業等の取組を支援した。 ○京丹後市観光協会（海の京都DMO京丹後地域本部）補助金 42,058 千円 【事業費】 36,932 千円 ・観光情報センター運営経費 19,253 千円 （人件費：正職員3人及び臨時職員3人並びに管理費） ・誘客促進活動事業 17,679 千円 ※ 商品造成・事業推進経費 9,904 千円 （人件費：正職員1人及び臨時職員3人並びに事業費） ※ 広告宣伝事業 200 千円 ※ 誘客イベント事業（ビーチノルディック大会など） 651 千円 ※ 海開き事業 100 千円 ※ インバウンド推進事業（タイ国際旅行フェア参加など） 1,024 千円 ※ 協会ホームページ機能追加 300 千円 ※ 協会支部活動費補助金（6支部） 5,500 千円 【人件費】 4,147 千円 ・協会職員給与、法定福利費等（臨時職員3人） 【管理費】 979 千円 ・旅費、事務費等				
主な財源	府補 未来づくり交付金（観光協会補助金）				15,000千円
成果・課題	○関西圏及び中京圏での広報宣伝事業、観光情報センターでの観光案内、地域の資源を活かした誘客事業の取組への支援により、大幅に増加した平成27年の観光入込客数（219万人）を平成28年も維持するなど、観光誘客及び観光振興に寄与した。 ○平成28年8月に統合参画した「海の京都DMO」との連携を強化し、同地域本部としての役割を担いながら、地域の観光プラットフォームとして必要とされる業界の一体化、事務局を含む推進体制の強化が必要である。				
事業所管課		商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業	
細事業名	01 観光宣伝活動事業				決算書 P.254
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,112千円	2,192千円	80千円	96.3 %	2,192千円	
目的	広域観光団体との連携によるPR活動の展開等により、食・自然・温泉・歴史文化遺産等豊富な観光資源を市外に発信し、観光客誘致の促進を図る。				
主要な事業・事業の概要	○（公社）京都府観光連盟負担金 390千円 ・ 京都総合案内所「京なび」（京都駅ビル内）でのポスター・パンフレット展示 ・ 「観光だより（行催事、味覚、花だより等）」のWEBサイトでの発信 ・ 京都市営地下鉄車内中吊り広告（12回） など ○北近畿広域観光連盟負担金 1,116千円 ・ 情報誌「北近畿レシビ」の発行（4回、各20,000部） ・ JR西日本情報誌「西Navi」への記事掲載（4回、各420,000部） ・ 北近畿観光キャラバン実施（2回、大阪駅でパンフ配布・デジタルサイネージ放映など） ・ 同連盟HP及びフェイスブックによる情報発信（日本語版及び外国語版）など ○NHK大河ドラマ誘致推進協議会負担金 400千円 ・ NHK本社への大河ドラマ誘致要望活動 ・ 関係市町でのリレーイベント（誘致PR及び署名活動）の開催 など ○因幡・但馬・丹後観光協議会負担金 106千円 ・ 因幡・但馬・丹後広域観光マップ作成（55,000部） ・ 同協議会HPによる情報発信 など ○歴史街道推進協議会負担金 100千円 ・ 京阪神地方私鉄5社と連携したスタンプラリーによる歴史街道への誘客活動 ・ イベント等での展示活動及び街頭PR（大阪、東京など） ・ 同協議会HPによる情報発信 など				
主な財源					
成果・課題	○各広域観光団体との連携によるPR活動（広報紙や広域パンフレットの作成、都市部での観光キャンペーン、WEBなどを活用したプロモーション）等、京丹後市単独では発信できない旅行発地等でのPRを実施することにより、観光誘客を図った。 ○NHK大河ドラマ誘致の早期実現を目指して引き続き関連事業を進める必要がある。 ○さらに、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌（マンガ含む）等のマスメディアの活用を進める必要がある。				
事業所管課	商工観光部／観光振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業	
細 事 業 名	02 観光サイン整備管理事業				決算書 P.254
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進		
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
5,891千円		5,943千円		52千円	99.1 % 6,386千円
目 的	市のイメージ及び自然景観に配慮したデザインによる観光サインを整備し、観光客の誘導及び利便性の向上、市のイメージアップを図る。				
主要な事務・事業の概要	○観光サインの修繕及び撤去 1,527千円 ・修繕7基、撤去10基 ○観光サインの設置 3,836千円 ・京丹後大宮IC付近歓迎サイン（1基） 1,266千円 ・誘導サイン（大宮町内2基・弥栄町内2基・網野町内1基、計5基） 2,570千円 ○観光サインへのロゴマーク貼付 92千円 ・「海の京都」及び「ユネスコ世界ジオパーク」のロゴマーク貼付（63基） ○観光サイン設置用地借上料 436千円 ・43か所（京丹後市内39か所、与謝野町内1か所、宮津市内1か所、福知山市内2か所）				
主な財源	府負 府補	「もうひとつの京都」市町村景観整備支援事業費交付金 未来づくり交付金（京丹後大宮IC歓迎サイン設置経費）			2,001千円 600千円
成果・課題	○山陰近畿自動車道京丹後大宮ICや一般国道丹後弥栄道路の開通に合わせた「歓迎サイン」や「誘導サイン」を設置したほか、サインの修繕や老朽化したサインの撤去を行い、観光客の誘導及び利便性の向上、観光地としてのイメージアップを図った。 ○今後は外国人観光客に対応するため、観光施設等を含む外国語表示・表記をさらに進めていく必要がある。				
事業所管課		商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費		01商工費		04観光振興費		02観光宣伝事業	
細 事 業 名	03 インバウンド 推進事業						決算書	P.254
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進						
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
1,934千円		1,948千円		14千円		99.2 %		2,140千円
目 的	外国からの旅行客誘致（インバウンド）を促進するとともに、四季を通じた観光入込客の増加を目指す。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成24年度から毎年交流を続けている韓国浦項（ポハン）市を京都府、舞鶴市職員とともに京丹後市職員が表敬訪問し、観光地や特産品の紹介を行うなど観光PRを行った。 また、宿泊業を営む事業者に対し、外国人観光客等の受入を促進するための環境整備に係る経費の一部について補助金を交付した。 ○第13回浦項（ポハン）国際花火祭り参加 137千円 ※平成28年7月26日～7月30日 韓国慶尚北道（キョンサンブクト）浦項（ポハン）市 ・職員旅費（4泊5日、1人） 134千円 ・消耗品費 3千円 ○外国人観光客等受入環境整備補助金 1,797千円 ・対象事業 ：①施設看板・案内表示等多言語化事業 ②クレジットカード決済機器導入事業 ③Wi-Fi等無線LAN整備事業 ④免税店開設事業 ・補助率 ：1/2以内（限度額：200千円） ・補助期間 ：年1回、1年度限り ・交付件数（H28） ：11件（ホームページ等多言語化2件、Wi-Fi整備9件）							
主 な 財 源								
成 果 ・ 課 題	○昨年度に引き続き韓国浦項（ポハン）市を訪問したことにより、さらに本市の観光地及び特産品のPRを行うことができた。 ○市内宿泊業者の受入環境整備を継続して支援するほか、市観光施設における多言語表示など、官民一体となって外国人観光客の受入環境を充実させていく必要がある。 ○市内での外国人観光客宿泊者数は2,657人（H28年実績、前年比124%）と増加しているが、近隣市と比較すると伸び悩んでおり観光プロモーション等の強化が必要である。							
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課						

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細 事 業 名	05 京丹後大宮インターチェンジ 開通記念事業			決算書 P.254
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
4,759千円		4,819千円	60千円	98.7 %
				0千円
目 的	平成28年10月の山陰近畿自動車道京丹後大宮IC開通を契機に、観光プロモーション活動や啓発広告物の作成や活用により、観光誘客を一層促進する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○観光プロモーション活動 3,860千円 マスメディアによる放送、報道や高速道路サービスエリア内の広告等を活用して、本市の魅力及び交通アクセスの向上を発信するとともに、都市部での物産販売等イベントでのキャンペーンを実施し、京丹後旅行への動機づけを図った。 ＜広告宣伝事業費＞ ・テーブルステッカー（高速道路SA：17か所）及び 1,578千円 ・ショーウィンドウ広告（高速道路SA：1か所） ・ラジオ広告（FM京都、FM大阪） 1,728千円 ＜観光誘致キャンペーン開催等経費＞（「丹後うまいもんフェア」ほか12会場） ・報償金等（丹後さもののクイーン出演謝金2人分ほか） 121千円 ・啓発資材等（配布用広告ポケットティッシュ50,000個ほか） 318千円 ・職員旅費等 115千円 ○啓発広告物作成等 899千円 山陰近畿自動車道京丹後大宮ICの開通及び本市の魅力を紹介するため、啓発パンフレットを作成したほか、横断幕及び懸垂幕を設置し周知を図った。 ・啓発パンフレット（20,000部） 540千円 ・京丹後大宮IC開通啓発横断幕及び懸垂幕（全6か所） 359千円			
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（京丹後大宮IC開通記念横断幕作成等経費）			156千円
成 果 ・ 課 題	○前年大幅に増加した観光入込客数の維持・増加につなげるため、山陰近畿自動車道京丹後大宮IC開通を契機に、多様な媒体を活用して、「交通アクセスの向上」と「京丹後の魅力」を発信した。 ○交通アクセスの向上により、日帰り客の割合は増える傾向にあるが宿泊客数は伸び悩んでいるため、滞在時間を増やしさらに宿泊につなげるための施策や情報発信が必要である。			
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	03水難対策事業
細 事 業 名	01 水難対策事業			決算書 P.256
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
15,721千円		15,885千円	164千円	98.9 %
				17,425千円
目 的	「海の京都」観光を進めるため、市内の各海水浴場開設者が行う連絡員配置、AED配備等の安全・安心措置について支援を行う。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	本市主要観光の一つである夏季海水浴による誘客を促進するため、全海水浴場（15海水浴場、19連絡所）への連絡員配置（延べ80人）、AED配備など、安全・安心な海水浴を楽しめる環境整備を図った。 ○報償費 水難救助船出動謝金 5 千円 ○旅費 水難防止推進連絡会議出席及び視察（鳥取県浦富海岸） 3 千円 ○需用費 連絡所消耗品、医薬品等 574 千円 ○役務費 連絡所仮設電話料金 243 千円 ○委託料 海水浴場放送設備設置委託料 1,079 千円 - 連絡員業務委託料 12,983 千円 ・海の京都DMO京丹後地域本部（丹後町・久美浜町域） 8,885 千円 ・嵯峨研サービス（八丁浜海水浴場） 601 千円 ・小浜観光協会（小浜海水浴場） 1,098 千円 ・掛津区（琴引浜掛津海水浴場） 751 千円 ・遊区（琴引浜遊海水浴場） 549 千円 ・浜詰区（浜詰海水浴場） 1,099 千円 - 水難啓発救助委託料（マリンスキュー網野） 80 千円 ○使用料及び賃借料 連絡所用コンテナハウス借上料（6棟） 320 千円 ○工事請負費 水難監視用スピーカー鋼管柱設置工事 108 千円 （小天橋、葛野浜海水浴場） ○備品購入費 自動体外式除細動器（AED）（1台） 150 千円 - 海水浴場水難監視業務用放送機器（スピーカー等） 93 千円 - トランシーバー（4台） 63 千円 - 双眼鏡（1台） 20 千円			
府補 繰入金	未来づくり交付金（水難対策事業） ふるさと応援基金繰入金			5,000千円 10,000千円
成 果 ・ 課 題	平成26年5月施行の「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」に規定されている海水浴場開設者が行う連絡員の配置、救護備品の設置等に対して支援することで、安全・安心な海水浴場を確保し、約22万人の海水浴客が訪れ、観光振興に資することができた。			
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業	
細 事 業 名	01 観光振興計画推進事業			決算書	P.256
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進		
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率
601千円		750千円		149千円	80.1 %
					(参考) 当初予算額 1,405千円
目 的	京丹後市観光立市推進会議の開催のほか、観光振興や地域の活性化について専門的な助言を得るため政策企画委員（専門委員）を設置し、観光振興計画の推進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○京丹後市観光立市推進会議 342 千円 ・ 委員報酬（委員23人） 226 千円 全体会議（2回）、統括部会（3回） ・ 費用弁償 116 千円 ○第3次京丹後市観光振興計画策定準備 3 千円 ・ 職員旅費 3 千円 ○政策企画委員の設置 256 千円 ・ 政策企画委員報酬（年額100千円×2人） 200 千円 ・ 費用弁償 56 千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○観光立市推進会議では、「美食観光」を柱とする今後の観光施策のあり方など、第3次観光振興計画策定に向けた方向性をまとめることができた。 ○政策企画委員には、観光立市推進会議等において、観光施策の企画事業推進にあたり専門的な立場からアドバイスを得ることができた。				
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業		
細 事 業 名	02 ほんもの体験観光のまち推進事業				決算書 P.256	
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,249千円		2,290千円		41千円	98.2 %	130千円
目 的	着地型の体験観光の推進を図るため、体験プログラムのブラッシュアップ及び開発調査等並びにスマートフォン用観光アプリケーションの運用を行う。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○ほんもの体験観光創出事業調査 2,119千円					
	本市の豊富な「食」をはじめ、自然、産業などの魅力的な資源を観光客のニーズに合わせて活用することにより、着地型の体験観光による滞在型観光を推進するとともに、新たな教育旅行の創出やインバウンド観光への展開を図るために調査業務を実施した。					
	＜調査内容＞					
	・観光商品として活用すべき地域産業、地域資源等の整理 ・体験プログラムのブラッシュアップ及び開発調査 ・新たな体験型教育旅行創出に関する提案事業 など					
	〔 ※整理した体験プログラム数（既存、新規） 160件 ※「教育旅行」、「産業観光」、「インバウンド観光」における現状課題分析と新事業の提案 〕					
	○スマートフォン用観光アプリケーションサーバー使用料 130千円					
	市内の多種多様な地域資源を活用した着地型体験観光パンフレット「わくわく京丹後へGO!」の内容と連動したスマートフォン用観光アプリケーション（日本語版、外国語版）の維持管理を行い、「観光スポットめぐりポイントラリー」の実施などにより、活用の促進を図った。					
	＜参考＞					
	着地型の体験観光：地域ならではの観光資源を活用し、地域（着地）側が企画・運営する体験プログラムを使った観光					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	○活用すべき体験プログラムを整理し、一元管理及びPR・販売を行う環境が整いつつある。 ○豊富な体験情報を盛り込んだ効果的なPRを実施するため、体験プログラムを活かした新たな教育旅行サービスの創出やインバウンド観光の仕組づくりを行う必要がある。 ○スマートフォン用観光アプリを活用した「ポイントラリー」の実施などにより、ダウンロード数が増加（1,040件・前年度比223%）しているので、引き続き効果的な運用を行っていく必要がある。					
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	03 教育旅行等誘致促進事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
54千円		131千円	77千円	41.2 % 131千円
目的	本市の自然環境や伝統産業等の地域資源を活用した教育旅行の誘致を促進することにより、観光入込客及び宿泊客の増加を図る。			
主要な事務・事業の概要	○教育旅行誘致活動 54 千円 教育旅行誘致のPR及び教育旅行業界の現状・課題を把握するため、旅行会社を訪問調査するとともに、大手旅行会社が参加する旅行商談会に参加し、体験旅行商品を提案、PRを行った。 <訪問調査先> 大手旅行会社（5社） オンライン旅行会社（3社） 観光プロモーション会議（商談会）参加（1回） ・職員旅費 50 千円 ・有料道路通行料 4 千円 ※オンライン旅行会社：インターネット上で取引を行う旅行会社。			
主な財源				
成果・課題	○旅行会社等に体験素材等を発信することができ、さらに教育旅行を受け入れるための条件、課題等をヒアリングすることができ、今後の取組の参考とすることができた。 ○教育旅行誘致の実現に向け、さらに体験プログラムや分宿の仕組みづくりなど宿泊施設等の受入体制を整備する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	04 フィルムコミッション推進事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
360千円		477千円	117千円	75.4 % 477千円
目的	映画、CM等の映像活用により、本市の知名度向上やイメージアップを図ることによる観光客等交流人口の増加につなげる。			
主要な事務・事業の概要	○撮影地誘致活動等経費（職員旅費、有料道路通行料等） 130千円 映画撮影所や映像制作関係機関への訪問のほか、映像関係のイベント、情報交換会等に参加し、撮影地としての本市の魅力をPRし、ロケ誘致に努めた。 【主なPR活動実績】 ・京都市内の映画撮影所（東映・松竹）PR訪問 ・京都市メディア支援センター（取材、映像制作などの支援窓口）PR訪問 ・VIPO（映像産業振興機構：人材育成、市場開拓などを行う機構）PR訪問 ・地域活性化プランニング（ロケ地情報誌の発行機関）PR訪問 ・「関西ATP（一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟）授賞会」参加 ※ATP：Association of All Japan TV Program Companies ・ロケスポット京都情報交換会参加 ※各市町フィルムコミッション担当者、映像関係者等による情報交換会 【撮影誘致等実績】 ・撮影等に関する問合せ 46件 ・撮影誘致及び映像化 21件 （映画、バラエティ、紀行番組、ミュージックビデオ等） ○パンフレット増刷費（1,000部） 130千円 ○ジャパン・フィルムコミッション会費 100千円 ・加入団体：正会員107団体（平成29年6月1日現在）			
主な財源				
成果・課題	○映画撮影所及び映像関係支援団体へのPR訪問並びに映像制作関係者が集まるイベント等に参加し、パンフレットの配布、情報交換を行ったことで、撮影誘致及び映像化が実現するなど、撮影地としてのPRにつなげることができた。 ○映画撮影地を巡るロケ地ツアー（京丹後市観光協会主催）に、京阪神から宿泊客を含む26人の参加があり、観光誘客につなげる取組が推進できたが、さらに観光誘客につなげることが今後の課題である。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業	
細 事 業 名	06 観光・休憩所整備事業（繰越）				決算書 P.258
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進		
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
10,501千円		21,371千円		10,870千円	49.1 % 21,371千円
目 的	山陰近畿自動車道の延伸に伴い増加が見込まれる道路利用の観光客に対するおもてなしを推進するため、本市の南玄関口における観光・休憩所整備について検討する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○観光・休憩所基本設計委託料 10,501 千円 市の南玄関口において、道路利用の観光客への観光おもてなしとして、休憩機能、観光情報発信機能、物産販売機能を備えた「観光・休憩所」の整備を検討するため、調査及び基本設計を実施した。 ＜調査・設計の内容＞ ・駐車場及び休憩施設の調査及び基本設計 ・交差点改良及び道路等改修の調査及び基本設計 ・公安委員会等関係機関との協議資料作成				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○市民や関係団体代表者によるワークショップの意見を踏まえながら、施設のコンセプト及び全体像並びに整備に向けた調査設計をまとめた。 ○交差点整備の課題等により、候補地とした大宮町河辺地内での事業化については立ち止まらざるを得ないが、山陰近畿自動車道延伸のスケジュール等を踏まえ、今後の方向性を検討する必要がある。				
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業		
細 事 業 名	07 美食観光のまち推進事業				決算書	P.256
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
252千円		255千円		3千円	98.8 %	0千円
目 的	ワークショップや勉強会の開催及び先進地視察を行うなど、様々な立場の関係者の意見を踏まえながら美食観光を推進する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○美食観光のまちづくりワークショップの開催 109千円 食のプロモーション等に関する専門的知見を有するアドバイザーの助言を受けながら、美食観光の取組内容等について検討を行うワークショップ及び関係者による勉強会を開催した。 ・美食観光アドバイザー及び勉強会講師謝金 109千円 開催回数：3回（1月～3月） 委員：市内旅館・民宿、飲食店、農業・漁業などの関係者（12人） 内容：美食観光のコンセプト、取組内容等の検討 ○講演会の開催 44千円 「地域の食と観光の新たな可能性」をテーマに、美食観光の概念や国内外の食と観光に関する先進事例などを交えて学んだ。 ・講師謝金 44千円 開催回数：1回（2月） 参加者：一般市民、宿泊業者、農業者、行政関係者等（約120人） ○先進地視察の実施 99千円 食のブランド化やプロモーション等、食を活用した観光振興の先進的な取組事例を調査し、今後の施策等の検討に活用するため、先進地視察を行った。 ・旅費等 27千円 ・バス運転委託料、有料道路使用料等 72千円 視察先：金沢市（金沢市役所、近江町市場） 参加者：ワークショップ委員及び市関係課職員等（6人）					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	○関係者による情報共有の場をつくり、地域資源や課題の掘り起しを行うとともに、先進地事例等を学ぶことで、今後取り組む施策の参考となった。 ○民間の意見を生かした美食観光のコンセプト（案）や関連施策の柱、方向性等をまとめることができた。 ○本事業のねらいやコンセプト（ロゴ、キャッチコピー含む）の明確化、また関係者による情報共有を行い、「食でもてなす観光」について関係者の機運醸成を図る必要がある。					
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	05観光の魅力づくり推進事業	
細事業名	01 観光の魅力づくり推進事業			決算書 P.258	
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額	
31,800千円		31,848千円	48千円	99.8 % 30,111千円	
目的	観光の魅力づくりに寄与する事業に対して補助金を交付し、本市の美しい自然や景観、歴史、文化、産業等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。				
主要な事務・事業の概要	○観光の魅力づくり推進事業補助金 31,737千円 (単位：千円)				
	事業区分	No	事業名	事業費 補助金	
	温泉源掘削、維持管理及び配湯施設整備事業	1	鳴き砂温泉／配管等改修・ポンプ整備事業	11,263	136
		2	夕日ヶ浦温泉／貯湯槽取替事業	6,609	940
		3	桜尾温泉／配管敷設事業	28,189	5,000
		4	鳴き砂温泉／タンク増設工事	7,323	5,000
		5	夕日ヶ浦温泉／湯元建物改修工事	4,600	4,140
		6	八丁浜小浜温泉／送湯ポンプ・貯湯槽漏水修理工事	822	740
		7	久美浜カンツリー温泉／水中ポンプ取替工事	1,967	1,770
		8	鴻の鶴温泉／水中ポンプ取替工事	652	587
	環境保全整備事業	9	浜詰区／ビーチクリーナー等格納倉庫建替え及びシャッター修繕工事	12,210	10,989
		10	平区／海岸清掃美化機器購入事業	1,458	1,312
	誘客施設整備事業	11	花ゆうみ／外壁修繕工事	132	99
		12	花ゆうみ／電極制御棒取替事業	98	73
		13	花ゆうみ／水風呂・かぶり湯補給バルブ修繕事業	180	135
		14	小野小町温泉／集毛器取替工事	795	596
		15	小野小町温泉／女子浴槽補給水弁取替工事	91	68
	誘客・宣伝事業	16	夕日ヶ浦観光協会／夕日ヶ浦木津温泉駅構内の案内地図看板更新	203	152
	計 (16件)			76,592	31,737
	○観光インフラ整備等基金調整会議費 (委員15人)			63千円	
	委員謝金 4,000円×14人 (2回開催)			56千円	
	費用弁償			7千円	
主な財源	繰入金 観光インフラ整備等促進実行調整費基金繰入金			31,737千円	
成果・課題	○温泉源の維持管理等魅力ある観光地づくりに必要な事業に対して支援を行うことにより、安定した温泉の供給や海岸の保全活動等への推進に寄与した。 ○観光の魅力づくり推進事業補助金及び観光インフラ整備等基金調整会議のあり方について、対象事業の内容や補助効果などを検証・検討する必要がある。				
事業所管課		商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目		07商工費	01商工費	04観光振興費	06観光インフラ整備等促進実行調整費基金	
細 事 業 名		01 観光インフラ整備等促進実行調整費基金				決算書 P.258
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額	
55,633千円		55,634千円		1千円	99.9 % 20千円	
目 的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進 実行調整費基金への積立金					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金 55,617千円 (平成27年度入湯税収入相当額 55,617,300円)					
	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金 (利子分) 16千円					
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)					
	平成27年度末 現 在 高 ①	平成28年度中増減額			平成28年度末 現 在 高 ①-②+(③+④)	
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④		
	74,028	31,737	16	55,617	97,924	
	(充当：1事業)					
	・観光の魅力づくり推進事業 31,737千円 (桜尾温泉配管敷設補助、浜詰区ビーチクリーナー等格納倉庫建替え及び シャッター修繕補助ほか)					
主 な 財 源	財産収入 観光インフラ整備等促進実行調整費基金利子収入 16千円					
成 果 ・ 課 題						
事 業 所 管 課		財務部／財政課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	07地域活性化支援事業	
細 事 業 名	01 地域活性化支援事業			決算書	P.258
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進		
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率
7,010千円		7,010千円		0千円	100.0 %
					(参考) 当初予算額
					8,010千円
目 的	各イベントの実行委員会が開催する域外誘客（観光）関連の地域行催事に対して支援を行い、もって地域活性化を促進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	【補助金交付イベント】 ○碓高原まつり実行委員会（いかり高原まつり）870 千円 総事業費：1,166千円、開催日：5月22日（日）、来場者：約1,500人 ○やさか納涼祭実行委員会（やさか納涼祭）2,500 千円 総事業費：4,865千円、開催日：7月16日（土）、来場者：約9,400人 ○間人みなと祭実行委員会（間人みなと祭）720 千円 総事業費：3,449千円、開催日：7月25日（月）、来場者：約8,000人 ○フェスタ飛天実行委員会（フェスタ「飛天」in京丹後）2,500 千円 総事業費：4,970千円、開催日：8月7日（日）、来場者：約15,000人 ○宇川観光振興会（宇川観光祭）420 千円 中浜港祭り 総事業費：480千円、開催日：7月26日（火） 来場者：約300人 宇川アユ祭 総事業費：402千円、開催日：8月15日（月） 来場者：約250人 穴文殊祭典 総事業費：779千円、開催日：8月24日（水） 来場者：約1,000人				
主 な 財 源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			5,000千円
成 果 ・ 課 題	○市内外から多くの方が来場され、地域活性化の促進につながった。 ○補助金額及び職員の人的応援等の支援体制がイベントごとに異なっている現状を踏まえ、それぞれのイベントの位置づけ（趣旨、目的、効果等）を整理する必要がある。				
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	08ｽﾎｰﾂのまちづくり推進事業
細 事 業 名	01 ｽﾎｰﾂのまちづくり情報発信事業			決算書 P.258
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	5	「スポーツ観光」による交流の推進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
5,701千円		5,723千円	22千円	99.6 % 5,890千円
目 的	交流人口増加と地域経済の活性化を図ることを目的に、スポーツ広報誌「京たんごスポーツ」の発行を通じてスポーツのまちづくりに関する情報を発信する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○委託料 スポーツ観光・交流のまちづくり情報誌制作委託料 5,684 千円 ・ 隔月発行（21,500部×6回） ・ タブロイド判、4色カラー刷 ・ 各戸配布並びに市内小・中・高等学校、京都丹後鉄道主要駅及び観光案内所等に配架 ○需用費 消耗品費（事務用品） 17 千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○市民に対しスポーツのまちづくりに関する情報提供を行うことができた。 ○他の媒体等により観光振興につながる効果を求めることとして、平成28年度をもって本事業を終了した。			
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	08ｽﾎﾟｰﾂのまちづくり推進事業
細 事 業 名	02 ｽﾎﾟｰﾂｲﾍﾞﾝﾄ推進事業			決算書 P.258
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	5	「スポーツ観光」による交流の推進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
18,977千円		19,241千円	264千円	98.6 % 25,197千円
目 的	様々なスポーツイベント等を開催又は開催支援することにより、交流人口の増加を図るとともに、イベント等を通じて全国へ本市の魅力をPRする。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○ 2016京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会 1,800 千円 ・ 京丹後市ドラゴンカヌー大会実行委員会補助金 (開催日：8月7日(日) 出場者数：84チーム、840人) ○ 丹後半島ラリー2016 331 千円 ・ 会場設営、広報費用等 (開催日：8月27日(土)～28日(日) 出走者数：75台、150人) ○ 2016歴史街道丹後100kmウルトラマラソン 5,000 千円 ・ 歴史街道丹後100kmウルトラマラソン実行委員会補助金 4,312 千円 ・ 参加者送迎用バス運転委託料 688 千円 (開催日：9月18日(日) 出場者数：3,062人) ○ 丹後大学駅伝(第78回関西学生対校駅伝競走大会) 921 千円 ・ 丹後大学駅伝後援会負担金 900 千円 ・ 公用車燃料費 21 千円 (開催日：11月19日(土) 参加大学：22大学) ○ 第3回サンセットビーチランin京丹後 3,000 千円 ・ サンセットビーチランin京丹後実行委員会補助金 (開催日：6月18日(土) 出場者数：約440人) ○ 第2回ビーチスポーツフェスティバルin京丹後 2,300 千円 ・ ビーチスポーツフェスティバルin京丹後実行委員会補助金 (開催日：7月9日(土) 参加者数：約1,000人) ○ 観光業等活性化推進事業補助金 1,900 千円 多様な地域資源を活かした地域経済への波及又は地域文化の振興等、まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会を主催又は主管する団体に対し補助金を交付する。 ・ 交付件数：13件(100千円×12件、700千円×1件)			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	08ｽﾎﾟｰﾂのまちづくり推進事業
細 事 業 名	02 ｽﾎﾟｰﾂｲﾍﾞﾝﾄ推進事業			決算書 P.258
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	5	「スポーツ観光」による交流の推進	
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業			3,575 千円
	・大韓民国カヌー視察団管内視察			2,250 千円
	・ホストタウン推進に係る海外実地調査（大韓民国） （訪問日：11月18日（金）～20日（日） 視察団：12人）			1,325 千円
	○ 旅費、有料道路通行料、駐車料 （ウルトラマラソン打合せ等出張経費）			125 千円
	○ 需用費（事務消耗品）			25 千円
主 な 財 源	府補	ｽﾎﾟｰﾂ観光聖地づくり事業補助金		2,650千円
	府補	未来づくり交付金（ｽﾎﾟｰﾂｲﾍﾞﾝﾄ推進事業）		4,400千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金		2,800千円
成 果 ・ 課 題	○各種スポーツイベントの開催により、出場者（全体で約11,000人）のほか、応援者、関係者等含め約18,300人の交流人口増加により、地域における経済波及効果及び市の魅力発信につながった。 ○ウルトラマラソンについては、補助金、人的支援等市の関わり方を検討する。 ○新たなオリ・パラホストタウンやワールドマスターズゲームズ（WMG）に係る取組に加え、ビーチバレーU-23の誘致についても具体的な検討を進める。			
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課、教育委員会事務局／社会教育課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	09海の京都推進事業
細 事 業 名	01 海の京都推進事業			決算書 P.260
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
7,536千円		7,537千円	1千円	99.9 % 7,111千円
目 的	世界有数のブランド観光地域をめざし、京都府及び北部5市2町が連携して取り組む「海の京都」関連事業を推進することにより、地域づくりと誘客の促進を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○観光地域ブランド確立支援事業負担金（海の京都DMO） 4,709千円 事業主体の海の京都DMOが、海の京都観光圏事業として、海の京都戦略拠点（久美浜及びタ日ヶ浦エリア）において、周遊観光の実証実験及び「海の京都2016京丹後旅」を実施した。 ・実施内容：久美浜湾遊覧船の運行及び久美浜エリア及びタ日ヶ浦エリアの周遊を促進するイベントの実施 ・実施期間：平成28年7月16日～9月25日の土・日・祝日（26日間） ・運行実績：遊覧船乗船者数 約390人 ・パンフレット：19,600部発行			
	○海の京都推進事業補助金 2,000千円 「『海の京都』京丹後市マスタープラン」を推進するため、「『海の京都』京丹後市実践会議」が実施する海を楽しむアクティビティ（タ日ヶ浦でのスタンドアップパドルサーフィン、ウォータースライダー）やカキ小屋（蒲井）、かぶと山展望台周辺への芝桜等の植栽、レンタサイクル（久美浜・タ日ヶ浦）などの活動を支援した。			
	○バスラッピング委託料 770千円 京丹後市の魅力をPRするため、市が所有するマイクロバス（1台）に「海の京都・京丹後市」の風景等をデザインしたラッピングを実施した。			
	○一般社団法人ウォーターフロント協会会費 50千円			
主 な 財 源	諸収入	観光地域ブランド確立支援事業補助金	1,872千円	
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	1,600千円	
成 果 ・ 課 題	○「海の京都2016京丹後旅」を開催し、海の京都戦略拠点で周遊観光の実証実験に取り組むため、周辺地域での体験プランやイベントを企画したことにより、遊覧船の利用客数が増えるなどの周遊観光の促進につながった。 ○本市マスタープランに基づく補助金交付等により、魅力ある観光地づくりに寄与した。 ○戦略拠点の「タ日ヶ浦滞在促進地区」「久美浜・小天橋交流地区」に続き、平成29年度からは「間人・琴引浜交流地区」での滞在プログラムの創出等を進めていく必要がある。			
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	09海の京都推進事業
細 事 業 名	01 海の京都推進事業（繰越）			決算書 P.262
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
6,362千円		10,000千円	3,638千円	63.6 % 10,000千円
目 的	世界有数のブランド観光地域をめざし、京都府及び北部5市2町が連携して取り組む「海の京都」関連事業を推進することにより、誘客と滞在の促進を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○タ日の広場（仮称）設計業務委託料 6,362千円 海の京都観光圏の「主たる滞在促進地区」である「タ日ヶ浦」の魅力向上を目的に、地域のシンボルである「タ日」を活用し、タ日の絶景が眺望できる名所として高質化を図り、観光客や地域住民が集い交流することができる広場を整備するための基本・実施設計を行った。 ・整備予定地 網野町浜詰地内 ・面積 3,310㎡（区有地） ・主な整備内容 ▶タ日を眺めるメインスペースとしての「タ日テラス」 ▶階段やベンチとして利用できる「段々広場」 ▶イベントなど幅広く利用できる「多目的スペース」			
主 な 財 源	市債	観光施設整備事業債（合併特例債）		6,000千円
成 果 ・ 課 題	○タ日ヶ浦のシンボルである「タ日」を活かした公園の設計を、浜詰区、タ日ヶ浦観光協会等で組織する地元検討メンバーの意見を反映しながらまとめた。 ○この広場がタ日ヶ浦及び海の京都の観光名所となるよう、かつ効果的な利活用等につながるためにも、地元住民や観光関係者等が一丸となって取り組むため、今後も引き続き検討を重ねながら整備を進める必要がある。			
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課		

予 算 科 目		07商工費	01商工費	04観光振興費	09海の京都推進事業
細 事 業 名		02 ズカーク推進事業			決算書 P.260
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
7,951千円		7,987千円	36千円	99.5 %	9,536千円
目 的	ユネスコ世界ジオパークの「山陰海岸ジオパーク」を活かしたジオツーリズム等による観光産業等の地域活性化や教育・学習活動を推進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○京丹後市ジオパークネットワーク推進会				63千円
	・ 委員謝金及び費用弁償（委員15人、2回開催）				63千円
	○拠点施設・ジオサイト等の管理運営及び整備				4,791千円
	・ 拠点施設の管理運営（道の駅てんきてんき丹後内）				3,536千円
	・ 拠点施設案内看板設置（2か所）				83千円
	・ 看板等へ“ユネスコ” ロゴマーク等貼付（29か所）				31千円
	・ ジオサイト案内看板設置（大成古墳群：1基）				77千円
	・ 草刈り等ジオサイト（2か所）の保安全管理				1,064千円
	○山陰海岸ジオパーク普及啓発等				1,823千円
	・ ガイド講習会「京丹後市の大地と歴史」開催（4回、延べ124人参加）				62千円
・ 小学校「大地の学習」冊子印刷（市内小学校20校、479人参加）				78千円	
・ 普及啓発PR活動（事務局旅費、日本ジオパーク全国大会参加旅費等）				183千円	
・ 普及啓発用消耗品等（ジオパークのぼり旗等）				669千円	
・ パンフレット・マップ印刷（10種類）				340千円	
・ 新聞、旅行情報誌等広告代（6件）				491千円	
○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金				1,274千円	
※別途「地方創生加速化交付金事業」で同負担金1,298千円を執行					
主 な 財 源	繰入金	地域振興基金繰入金			5,000千円
成 果 ・ 課 題	○ガイド講習会を継続的に開催したことにより、ジオパークガイドの確保や、新たなガイド団体の設立（小天橋ガイドクラブ）につながった。 ○引き続き市民等に対しジオパークを啓発するほか、平成26年から始まった「龍宮プロジェクト」等の民間と連携したツーリズム及び商品化の推進を図る必要がある。 ○市ジオパークネットワーク推進会の活性化について、より機動的な動きとするための部会設置等を検討する必要がある。				
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費		01商工費	04観光振興費	09海の京都推進事業	
細 事 業 名	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業				決算書	P.260
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
5,918千円		5,994千円		76千円	98.7 %	6,065千円
目 的	年間を通じて賑わう「日本一の砂浜海岸づくり」に向け、美しい砂浜海岸の保全と市民の意識高揚を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○遊歩道開通式179 千円 バス運転委託料、会場設営業務 ○砂浜海岸の保全事業5,739 千円 - 海水浴場清掃美化業務委託2,593 千円 (蒲井海岸、箱石湊宮葛野海岸、琴引浜・遊、琴引浜・掛津、後ヶ浜海岸、竹野海岸、上野平海岸平側、袖志海岸) - 遊歩道堆積砂撤去委託料200 千円 (小天橋箱石海岸遊歩道に堆積する砂及び雑草等の除去) - 流木撤去工事(葛野海岸)939 千円 - ビーチ斉クリーン作戦(浜詰～葛野海岸) 重機等借上料1,017 千円 消耗品費、印刷製本費、バス運転委託料等504 千円 (開催日：6月12日(日) 参加者数：約300人) 「京都日本海清掃」(国際ボランティア学生協会による海岸清掃) 消耗品費、バス運転委託料等486 千円 (開催日：3月4日、5日、6日 参加者数：約100人)					
主 な 財 源	府補 繰入金	未来づくり交付金(日本一の砂浜海岸づくり推進事業) ふるさと応援基金繰入金				1,000千円 4,000千円
成 果 ・ 課 題	○市民やボランティアと一体となり海岸清掃を実施することで、砂浜の景観保全を図るとともに、清掃活動を通して市民等の保全意識の高揚につながった。 ○より賑わう美しい砂浜海岸づくりに向け、各海岸での取組の情報発信や清掃ボランティアの受入支援体制の強化等を図る必要がある。					
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	09海の京都推進事業
細事業名	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業（繰越）			決算書 P.262
総合計画	計画項目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,761千円		2,441千円	680千円	72.1 % 2,441千円
目的	年間を通じて賑わう「日本一の砂浜海岸づくり」の一環として、砂浜海岸における案内看板等を設置し、訪れる方の利便性を図る。			
主要な事務・事業の概要	○ 委託料 205 千円 ・ 小天橋箱石海岸遊歩道案内看板デザイン業務委託 119 千円 ・ 小天橋箱石海岸遊歩道誘導標識制作業務委託 86 千円 ○ 工事請負費 1,556 千円 ・ 小天橋箱石海岸遊歩道サイン整備工事 1,556 千円			
主な財源				
成果・課題	各種案内看板等を設置することで、利用しやすい砂浜環境の整備を図ることができた。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	50観光振興一般経費
細事業名	01 観光振興一般経費			決算書 P.262
総合計画	計画項目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,550千円	10,569千円	19千円	99.8 %	10,201千円
目的	観光に関する専門的なノウハウや知見を有する都市圏大手旅行会社からの人材を受け入れるとともに、各種団体へ加盟し観光振興の推進を図る。			
主要な事務・事業の概要	○協議会等加盟負担金〔スポーツ観光・交流課〕92 千円 ・国民保養温泉地協議会負担金45 千円 ・近畿道の駅連絡会負担金47 千円 ○事務費〔スポーツ観光・交流課〕458 千円 ・普通旅費58 千円 ・事務消耗品、修繕費116 千円 ・公用車事故による賠償金268 千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料16 千円 ○地域おこし企業人交流プログラム受入事業負担金10,000 千円 〔観光振興課〕 総務省「地域おこし企業人交流プログラム事業」を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する都市圏の大手旅行会社の社員を受け入れた。 ・受入期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日 ・配属部署：商工観光部観光振興課 ・活動内容：観光協会活動支援、海の京都DMO及び豊岡DMO参画関連業務、体験型観光・教育旅行・インバウンドの推進など			
主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金		268千円
成果・課題	○加盟協議会等作成の各種パンフレット、ホームページを活用した本市のPRと、協議会等から提供される情報を本市の観光施策構築のうえで参考にすることができた。 ○「地域おこし企業人交流プログラム事業」の活用により、着地型旅行商品の提案や教育旅行等にかかる営業活動をはじめ、民間企業で培った専門知識、経験、人脈、ノウハウ、また外部視点・民間感覚を活かした観光施策を推進することができた。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課、観光振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	01海浜等施設管理事業
細 事 業 名	01 海浜等施設管理事業			決算書 P.262
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
10,277千円		10,437千円	160千円	98.4 % 12,288千円
目 的	海水浴場等にある観光関連施設（トイレ、休憩所等）の清掃及び修繕等維持管理を行い、海岸地域の美化と観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○委託料 3,168 千円 施設維持管理委託料 ピーチサイドブース10か所 （浜詰3・小浜2・掛津4・遊1） 310 千円 浄化槽維持管理委託料（琴引浜西ビーチサイドブース） 607 千円 海水浴場清掃美化委託料（海水浴場排出ごみ） 1,900 千円 施設清掃委託料 5か所（砂方・竹野・久僧・中浜・蒲井） 351 千円 ○需用費 3,520 千円 消耗品費（トイレットペーパー、清掃用消耗品等） 75 千円 光熱水費（電気料金、上下水道料金） 2,634 千円 修繕料（浄化槽修繕、水道設備修繕等） 811 千円 ○役務費 1,348 千円 手数料（し尿汲取手数料、浄化槽法定検査料等） 1,272 千円 保険料（火災） 76 千円 ○使用料及び賃借料 163 千円 土地借上料（中浜オートキャンプ場用地） ○工事請負費 2,078 千円 竹野休憩所解体撤去工事 297 千円 遊海浜施設休憩所撤去工事 955 千円 小浜海浜施設休憩所撤去工事 826 千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	快適な利用環境を確保するため、海水浴場等に設置されているトイレ及び休憩所等を清潔に維持管理することができた。また、老朽化した休憩所（3か所）を撤去することで、海浜の美観保持と観光客等の安全を確保した。			
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課		

予 算 科 目	07商工費		01商工費		05観光等施設費		02自然公園管理事業	
細 事 業 名	01 自然公園管理事業						決算書	P.262
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進						
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
13,976千円		15,837千円		1,861千円		88.2 %		15,237千円
目的	京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。							
主要な 事務・事業の 概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）について維持管理及び環境保全を行った。							
	自然公園名		町名		園地等の名称			
	山陰海岸国立公園		久美浜町		かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石			
			網野町		浜詰、夕日ヶ浦、五色浜			
	丹後天橋立大江山国定公園		小浜		掛津、遊、三津			
			丹後町		後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬			
	○自然公園施設等管理委託料（16園地等） 6,280千円							
	○自然公園内ごみ収集委託料（5園地） 1,484千円							
	○トイレ清掃・水道施設管理委託料・バイオトイレ維持管理委託料 958千円							
	○し尿汲取手数料（7園地） 1,536千円							
○修繕料（五色浜園地公衆トイレ給水施設修繕等） 186千円								
○工事費（経ヶ岬水道施設遠方監視システムの設置） 719千円								
○原材料費（かぶと山園地内敷地整備） 20千円								
○通信運搬費（経ヶ岬園地水道施設遠方監視システム） 20千円								
○消耗品費、光熱水費（10園地） 2,595千円								
○火災保険料（五色浜園地給水装置機械室棟） 3千円								
○土地借上料（後ヶ浜園地便所用地、経ヶ岬園地駐車場用地） 160千円								
○自然公園保護協会負担金 15千円								
参考		繰越明許費を除いた最終予算額					14,037千円	
		実質的な執行率					99.6%	
■平成29年度への繰越事業								
・箱石浜園地階段修繕工事 平成29年6月完成 1,800千円								
主な 財源	府委 国立公園・国定公園管理委託金						8,694千円	
成果・課題	○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全を委託実施した。 ○経ヶ岬園地の遊歩道落石や後ヶ浜園地内のトイレ等、一部改修が必要な施設があるため、さらに安全で快適な環境整備のため、今後とも京都府へ対応を求めていく必要がある。							
事業所管課		商工観光部／観光振興課						

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.264
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進	
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進	
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
132,136千円		132,295千円	159千円	99.8 % 135,752千円
目的	観光関連施設の管理運営業務を指定管理者に行わせることにより、民間事業者のノウハウを活用した適切な施設運営と維持管理を行う。			
主要な 事務・事業の 概要	○指定管理委託料（千円）			
	天女の里	9,450	高嶋園地	0
	小町公園	3,490	森林公園スイス村	33,590
	浅茂川温泉静の里	29,942	弥栄あしぎぬ温泉	12,000
	道の駅てんきてんき丹後	360	風蘭の館	1,150
	はしうど荘	3,196	奥山自然たいけん公園	1,170
	碓高原ステーキハウス	1,040	久美浜豪商「稲葉本家」	6,260
	宇川温泉よし野の里	9,350	かぶと山公園	1,790
			計	112,788
	○需用費 ・あしぎぬ温泉電気代 11,570 千円			
主 な 財 源	○役務費 1,528 千円			
	・電話回線廃止手数料 1 千円			
	・保険料（火災・自動車損害） 1,527 千円			
	○委託料 4,840 千円			
	・水道水質検査委託料（スイス村、奥山自然たいけん公園） 1,243 千円			
	・受変電設備保守管理委託料（弥栄あしぎぬ温泉） 184 千円			
	・ポイラー調査・保守点検委託料（浅茂川温泉静の里） 824 千円			
	・雑木伐採委託料（かぶと山公園） 194 千円			
	・産業廃棄物処理委託料（浅茂川温泉静の里） 591 千円			
	・特殊建築物等報告業務委託料 1,804 千円			
成 果 ・ 課 題	（静の里、はしうど荘、よし野の里、あしぎぬ温泉、スイス村）			
	○使用料及び賃借料 ・土地借上料（施設用地（全9か所）） 1,410 千円			
	諸収入	水質検査料一部負担金	96千円	
	諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	11,754千円	
事 業 所 管 課	諸収入	過年度弥栄あしぎぬ温泉電気代負担金	992千円	
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策事業債）	17,900千円	
民間事業者のノウハウを生かし、効率的な施設運営を行い、良好な利用環境を提供した。				
商工観光部／スポーツ観光・交流課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細 事 業 名	02 指定管理施設大規模改修事業（繰越）			決算書 P.266
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
	(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
27,545千円		28,797千円	1,252千円	95.6 % 28,797千円
目的	観光関連の指定管理施設について必要な改修・修繕を実施し、施設利用者の安全の確保及び施設の利便性・快適性を維持する。			
主要な事務・事業の概要	○ 委託料 1,777 千円 ・ 浅茂川温泉静の里修繕工事監理業務委託 697 千円 （カーペット、畳、風呂釜修繕） ・ かぶと山虹の家浄化槽設置水洗化工事設計監理業務委託 1,080 千円 ○ 工事請負費 24,558 千円 ・ 浅茂川温泉静の里修繕工事 17,675 千円 （カーペット、畳、風呂釜修繕） ・ かぶと山虹の家浄化槽設置水洗化工事 6,883 千円 ○ 備品購入費 1,210 千円 ・ 浅茂川温泉静の里全自動プールクリーナー購入 599 千円 ・ 浅茂川温泉静の里プールコースロープ購入（6本） 391 千円 ・ 浅茂川温泉静の里パソコン購入 220 千円			
主な財源	市債 観光施設整備事業債（過疎対策債）			7,600千円
成果・課題	必要な修繕等を実施することにより、適正な施設稼働を確保した。			
事業所管課		商工観光部／スポーツ観光・交流課		

予 算 科 目		07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細 事 業 名		02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.264
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進		
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
79,166千円		81,338千円		2,172千円	97.3 % 34,760千円
目的 観光関連の指定管理施設について必要な改修・修繕を実施し、施設利用者の安全の確保及び施設の利便性・快適性を維持する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○ 需用費（修繕料） 18,609 千円				
	・天女の里（雨樋修繕等） 557 千円				
	・小町公園（入口看板取替、墓塀瓦葺き直し、庭園灯修繕） 677 千円				
	・浅茂川温泉静の里（鍵修繕工事） 703 千円				
	・はしうど荘（ボイラー、身障者トイレ修繕工事） 764 千円				
	・道の駅てんきてんき丹後（熱遮断フィルム設置、便所ドア修繕） 1,112 千円				
	・宇川温泉よし野の里 3,061 千円				
	（昇温用温水、送湯ポンプ交換） 782 千円				
	（温泉棟屋根、ウッドデッキ修繕） 2,279 千円				
	・スイス村スキー場 3,588 千円				
（ゲレンデ食堂、旧ゴルフ練習場屋根修繕） 439 千円					
（バンガロー屋根、階段修繕） 856 千円					
（高原休養センター浴場循環ポンプ交換工事） 455 千円					
（冬季車両（雪上車・モービル等）修繕） 1,838 千円					
・弥栄あしぎぬ温泉 4,345 千円					
（自動扉開閉装置、駐車場外灯修理、屋根瓦修繕） 391 千円					
（カーペット張替、ブリッジ外壁修繕） 2,628 千円					
（管理館エアコン室外機修繕、温調器取替修繕） 1,326 千円					
・風蘭の館 1,393 千円					
（押入板張替、床下換気口修繕、自動扉開閉装置修繕） 914 千円					
（厨房用エアコン取替、照明器具修繕） 479 千円					
・久美浜豪商「稲葉本家」（長屋門白壁修繕） 347 千円					
・奥山自然たいけん公園 2,062 千円					
（火災警報装置修繕） 676 千円					
（ガス調理器更新、合併浄化槽修繕） 1,386 千円					
○ 委託料 324 千円					
・宇川温泉よし野の里（エアコン改修工事設計業務委託）					

予 算 科 目		07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細 事 業 名		02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.264
総 合 計 画		計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
		(旧計画項目)	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○ 工事請負費				56,865 千円
	・天女の里（擬木柵設置工事）				1,574 千円
	・浅茂川温泉静の里（設備改修、雑木等撤去工事）				20,436 千円
	・はしうど荘（ろ過設備改修工事）				2,106 千円
	・宇川温泉よし野の里				12,768 千円
	（網戸、ウッドデッキ、エアコン、ろ過設備等改修工事）				
	・スイス村スキー場（リフト設備改修、テニスコート改修工事）				11,177 千円
	・かぶと山公園（遊具、木製吊橋改修工事）				8,804 千円
	○ 備品購入費				3,368 千円
	・天女の里（ファンヒーター、防災カーテン、電話機等）				430 千円
・小町公園（除雪機、ファンヒーター購入）				380 千円	
・はしうど荘（サウナストーブ、金庫購入）				740 千円	
・道の駅てんきてんき丹後（ガスレンジ、業務用冷蔵庫購入）				419 千円	
・碓高原ステーキハウス（食器洗浄機購入）				724 千円	
・弥栄あしぎぬ温泉（オープンレンジ購入）				302 千円	
・久美浜豪商「稲葉本家」				321 千円	
（排水水中ポンプ、バルブ洗浄ユニット購入）					
・奥山自然たいけん公園（消火器購入）				52 千円	
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		79,334千円
			実質的な執行率		99.8%
■平成29年度への繰越事業					
		・京丹後市浅茂川温泉第1源泉調査業務		平成29年5月完成	2,004千円
主 な 財 源	府補	未来づくり交付金（指定管理施設大規模改修事業）			28,014千円
成 果 ・ 課 題	○必要な修繕等を実施することにより、適正な施設稼働を確保した。 ○施設の老朽化による不具合箇所の進行を早期発見し、早めに対処することにより被害の拡大を防ぐ必要がある。				
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	50観光等施設一般経費		
細 事 業 名	01 観光等施設一般経費				決算書	P.266
総 合 計 画	計 画 項 目	4	滞在型観光・スポーツ観光の促進			
	(旧計画項目)	4	四季を通じた滞在型観光の促進			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
13,795千円		14,460千円		665千円	95.4 %	14,819千円
目 的	観光関連公共用施設の清掃、草刈り等を行うことにより、観光客及び市民の利便性の向上と憩いの場づくりを推進する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備ほか）					8,367 千円
	地域名	施 設 名				
	峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園など				
	大宮地域	平地地藏公園、ブナハウス内山など				
	網野地域	子午線塔、静の杜など				
	丹後地域	経ヶ岬・碇高原水道施設、碇高原畜産展示資料館など				
	弥栄地域	細川ガラシャ夫人の碑周辺圧雪業務など				
	久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設、ドラゴンカヌー艇庫など				
	○需用費					3,381 千円
	消耗品費（施設管理用消耗品等）					232 千円
	光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料ほか）					2,425 千円
	修繕料（離湖公園外灯修繕、最北子午線塔時計バッテリー交換ほか）					724 千円
	○役務費					805 千円
	通信運搬費（離湖公園電話料）					32 千円
	手数料（し尿汲取手数料ほか）					614 千円
保険料（建物火災保険・自動車損害保険）					159 千円	
○委託料					272 千円	
圧雪業務委託料（伊根町：風力発電施設）						
○使用料及び賃借料					451 千円	
土地借上料（ブナハウス内山用地、網野駅観光車両待避所用地ほか6か所）						
○工事請負費					490 千円	
細川ガラシャ便所解体、コミュニティプラザ（丹後市民局横）トイレ改修						
○負担金及び交付金					29 千円	
負担金（小町温泉温泉スタンド電気料負担金）						
主 な 財 源	府委	碇高原畜産展示資料館管理委託金（10/10）				1,013千円
	諸収入	丹後温泉電力料				504千円
	諸収入	圧雪業務委託金				272千円
	諸収入	丹後温泉源泉管理負担金				194千円
成 果 ・ 課 題	○利用者に良好で快適な施設環境を提供するため、清掃、修繕等の維持管理を適切に行うことができた。					
	○地元区や利用者からの連絡・通報・苦情に対し即座に対応できるよう、平成29年度から、地域の実情にも詳しい各市民局が維持管理を行うこととした。					
事 業 所 管 課		商工観光部／スポーツ観光・交流課				

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業		
細 事 業 名	01 地籍調査事業				決算書	P.268
総 合 計 画	計 画 項 目	12 快適な都市空間の形成				
	(旧計画項目)	14 計画的な土地利用の推進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
9,747千円		69,029千円		59,282千円	14.1 %	14,288千円
目 的	山陰近畿自動車道の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、大宮町森本地区において境界確認及び測量業務を実施する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	大宮町森本地区において、土地所有者との境界立会及び境界点の測量を行った。					
	○嘱託職員報酬、共済費、費用弁償（1人）					2,416千円
	○旅費					136千円
	・ 地籍調査担当者会議及び講習会					97千円
	・ 予算要望活動					39千円
	○地籍調査支援システム保守業務委託料、システム使用料					1,125千円
	○地籍調査業務委託料（大宮森本地区1、2工区（0.47km ² ））					5,822千円
	・ 地籍図根多角点測量、一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量、測量成果物の閲覧					
	○地籍調査推進委員報償費（6人）					30千円
	○地籍調査事務費等					218千円
	参考		繰越明許費を除いた最終予算額		9,754千円	
			実質的な予算執行率		99.9%	
■平成29年度への繰越事業						
・ 地籍調査事業					59,275千円	
大宮森本地区3工区（0.14km ² ）		平成29年9月完成予定				
大宮町周枳地区（2.19km ² ）		平成29年11月完成予定				
大宮町河辺地区（1.11km ² ）		平成29年9月完成予定				
峰山町新町地区（1.19km ² ）		平成29年9月完成予定				
峰山町荒山区（1.23km ² ）		平成29年9月完成予定				
主 な 財 源	府補	地籍調査事業補助金（3/4）				7,299千円
成 果 ・ 課 題	○調査地区内の土地境界立会い及びその境界点の測量が完了した。					
	○調査の効率化を図るため、土地所有者等に事業の重要性を理解してもらい、協力体制を築く必要がある。					
事 業 所 管 課		建設部／管理課				

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業
細事業名	01 地籍調査事業（繰越）			決算書 P.270
総合計画	計画項目	12 快適な都市空間の形成		
	(旧計画項目)	14 計画的な土地利用の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,722千円	2,860千円	138千円	95.1%	2,860千円
目的 山陰近畿自動車道の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、大宮町森本地区において境界確認及び測量業務を実施する。 主要な事務・事業の概要 大宮町森本地区において、土地所有者との境界立会及び境界点の測量を行った。 ○地籍調査業務委託料（大宮森本地区2工区（0.06km²）） 2,646千円 ※地籍図根多角点測量、一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量、測量成果物の閲覧 ○地籍調査推進委員報償費（6人） 54千円 ○地籍調査事務費等 22千円				
主な財源	府補 地籍調査事業補助金（3/4）			2,040千円
成果・課題	調査地区内の土地境界立会い及びその境界点の測量が完了した。			
事業所管課	建設部／管理課			

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費
細 事 業 名	01 土木総務一般経費			決算書 P.270
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
22,866千円		56,715千円	33,849千円	40.3 % 41,298千円
目的	土木行政を行う上で必要な事務事業の実施。また、国及び府が行う道路事業の推進を図る。			
主要な事務・事業の概要	○土木一般管理事務費			799千円
	普通旅費・事務消耗品・有料道路通行料等			
	○公用車維持管理費（8台）			1,481千円
	○市道照明等電気代			1,206千円
	○未登記分筆登記委託料			805千円
	○事務補助業務人材派遣委託料			278千円
	○道路台帳補正業務委託料			3,736千円
	○道路台帳システム保守点検委託料			540千円
	○道路関係各種協会、協議会等負担金（5機関）			289千円
	○市道事故賠償金			642千円
主 な 財 源	○野田川大宮道路開通プレイベント等経費			2,110千円
	○大宮峰山道路用地調査業務			490千円
	○市有法面对策工事（丹後町間人）			10,490千円
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		23,100千円
		実質的な予算執行率		99.0%
	■平成29年度の繰越事業			33,615千円
	・未登記整理業務			
	市道東砂畑線（網野町浅茂川）			平成29年12月完成予定 4,308千円
	市道砂田堂ゴヤ線（峰山町杉谷）			平成29年9月完成予定 1,190千円
	市道石ヶ下岡ノ坊線（峰山町荒山）			平成29年12月完成予定 612千円
大宮町善王寺小字辻地内（大宮町善王寺）			平成29年5月完成 136千円	
成 果 ・ 課 題	・準用河川鶴川用地測量業務（大宮町周枳）			平成29年6月完成 359千円
	・市有法面对策工事（丹後町間人）			平成29年9月完成予定 27,010千円
	手数料	屋外広告物許可手数料		447千円
	手数料	境界確定調査事務手数料		21千円
	諸収入	総合賠償保障保険金		642千円
	諸収入	市有自動車損害共済金		166千円
	市債	地すべり対策事業債（合併特例債）		10,000千円
	○市道管理に必要な道路台帳システムの更新、道路用地の未登記物件の登記を行い、土木事業を推進することができた。			
	○山陰近畿自動車道野田川大宮道路の開通、国及び京都府の業務支援を行い、市内での事業の推進を図ることができた。			
	○市有地の法面の安全性の確保を図るため、法面对策の進捗を図った。			
事業所管課		建設部／管理課、土木課		

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費		
細 事 業 名	01 土木総務一般経費（繰越）				決算書	P.272
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進				
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,853千円		3,355千円	502千円	85.0 %	3,355千円	
目 的	市道の用地整理等が未完了の箇所における調査測量、分筆登記等の処理を行い、適切な道路管理の推進を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市道に係る道路及び水路用地の用地整理等が未完了であった市道吉沢河辺線、市道東小路稗田線、市道呉服桜内線、市道米川本郷線について、地権者調査、測量業務、分筆登記業務等を行い、未登記整理を行った。					
	○市道吉沢河辺線未登記敷地整理業務（弥栄町吉沢）				450千円	
	○市道東小路稗田線未登記敷地整理業務（網野町浅茂川）				1,706千円	
	○市道呉服桜内線登記敷地整理業務（峰山町丹波）				293千円	
	○市道米川本郷線未登記敷地整理業務（峰山町長岡）				404千円	
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	用地整理ができたことにより、市道の適正な財産管理が図れた。					
事 業 所 管 課		建設部／管理課				

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業						
細 事 業 名	01 市道維持補修事業				決算書	P.272				
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進								
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実								
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額					
144,578千円		170,496千円	25,918千円	84.7 %	136,656千円					
目 的	市が管理する道路施設や交通安全施設の維持修繕及び道路沿いの草刈作業を行い、道路利用者の安全を図る。									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○市道・里道・水路・交通安全施設修繕				68,378千円					
	区分	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	管理課	計	
	修繕料	件数	45	16	19	35	11	19	119	264
		金額	10,485	3,748	6,226	6,391	2,730	6,104	13,613	49,297
	重機借上	件数	49	3	15	2	9	20	20	118
		金額	1,993	124	552	149	408	595	566	4,387
	原材料	件数	51	14	22	2	5	41	121	256
		金額	4,207	863	1,732	150	385	3,593	3,764	14,694
	(市民局施工分…地域協働型小規模公共事業)									
	○市道環境整備等委託料(市道草刈)								20,074千円	
	○測量設計等委託料								5,631千円	
	○市道・交通安全施設(カーブミラー、ガードレール等)整備工事								41,237千円	
	○道路パトロール経費									
	・ 作業員賃金(4人)、社会保険料等								7,392千円	
	・ 消耗品、ごみ処理手数料、チェーンソー修繕等								847千円	
	・ 道路パトロール借入携帯 2台								104千円	
	○公用車維持管理費(車検、修繕料、燃料費等 1台)								609千円	
	○備品購入費(電動ハンマー・ハンマードリル)								148千円	
	○市道口大野善王寺線道路敷地整理に係る土地購入費								34千円	
	○分筆登記委託料								75千円	
	○市道小坂オバソ線仮橋用地補償料(247㎡)								49千円	
	参 考								繰越明許費を除いた最終予算額	145,205千円
									実質的な予算執行率	99.6%
	■平成29年度への繰越事業(6路線)								平成30年2月完成予定	25,291千円
主 な 財 源	繰入金	地域振興基金繰入金						20,000千円		
	市債	道路改良事業(合併特例債)						25,000千円		
	市債	道路改良事業(過疎対策債)						8,800千円		
成 果 ・ 課 題	道路構造物の老朽化及び経年損耗等が進行しており、定期的な点検及び計画的な修繕が必要である。									
事 業 所 管 課		建設部/管理課、土木課								

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業
細 事 業 名	01 市道維持補修事業（繰越）			決算書 P.274
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	（旧計画項目）	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率
38,450千円		39,780千円	1,330千円	96.6 %
		39,780千円		
目的	老朽化、経年損耗等によって通行に支障が生じている道路、橋梁施設の維持補修を行い、道路交通における安心・安全を確保する。			
主要な事務・事業の概要	平成27年度から繰り越した81か所について、修繕事業を実施した。			
	○修繕料 15,933千円			
	区分	網野	丹後	久美浜町
	件数	20件	34件	21件
	金額	3,934千円	7,666千円	4,333千円
	合計	15,933千円		
	○市道維持工事 22,517千円			
	区分	峰山	網野	丹後
	件数	1件	2件	3件
	金額	4,432千円	4,545千円	13,540千円
	合計	22,517千円		
主な財源	市債 道路改良事業（合併特例債）			4,100千円
成果・課題	老朽化及び経年損耗等により通行に支障が生じている道路施設を補修することにより、安心・安全な通行の確保を図った。			
事業所管課		建設部／管理課、土木課		

予 算 科 目	08土木費		02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業	
細 事 業 名	01 道路新設改良事業				決算書	P.274
綜 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進				
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
58,553千円		127,311千円	68,758千円	45.9 %	63,670千円	
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○道路新設改良					57,932千円
	【継続】					
	(大宮町河辺) 野川線		L=100m	道路拡幅	12,942千円	
	(大宮町口大野) 中河原線		L=24m	道路拡幅	4,441千円	
	(網野町浅茂川) 内ヶ森西池新田線		L=151m	側溝改良	14,862千円	
	(網野町小浜) 河口高校グラウンド線		L=98m	側溝改良	15,880千円	
	【新規】					
	(峰山町内記) 中筋黒吹線		L=80m	道路拡幅	2,767千円	
	(峰山町丹波) 立ノ下反無線		L=135m	舗装新設	1,886千円	
	(峰山町矢田) 糸井新田三十割線		L=137m	舗装新設	2,649千円	
	(網野町浅茂川) 布多村日吉橋線		L=60m	道路改良	2,505千円	
	○事務費(旅費、消耗品費、燃料費)					621千円
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額				58,603千円
		実質的な予算執行率				99.9%
	■平成29年度への繰越事業					68,708千円
	(峰山町鱒留) 丁田線		平成30年1月完成予定		15,000千円	
	(峰山町荒山) イナキバ荒山堂田線		平成29年7月完成		4,540千円	
	(峰山町新町) 家ノ下下古川線		平成29年6月完成		2,927千円	
	(大宮町善王寺) 余ル部線		平成29年12月完成予定		24,733千円	
	(峰山町内記) 中筋黒吹線		平成29年10月完成予定		7,100千円	
	(丹後町上野) 高嶋線		平成30年2月完成予定		14,408千円	
主 な 財 源	市債 道路改良事業債(合併特例債)					54,700千円
成 果 ・ 課 題	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。					
事 業 所 管 課		建設部/土木課				

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業
細 事 業 名	01 道路新設改良事業（繰越）			決算書 P.274
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
41,102千円		45,250千円	4,148千円	90.8 % 45,250千円
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○道路新設改良 41,102千円 【継続】 (峰山町新町) 大ボヘ古川線 L=150m 道路拡幅 10,542千円 (弥栄町溝谷) 溝谷中央線 L=35m 側溝改良 2,654千円 (網野町網野) 水の江北大路線 L=152m 側溝改良 2,824千円 【新規】 (峰山町荒山) 石ヶ下岡ノ坊線 L=58m 側溝改良 2,658千円 (峰山町鱒留) 丁田線 L=81m 道路拡幅 3,305千円 (網野町網野) 福田線 L=160m 道路拡幅 16,917千円 (弥栄町和田野) 上笠線 L=20m 道路拡幅 2,202千円			
主 な 財 源	市債 道路改良事業債（合併特例債）			38,400千円
成 果 ・ 課 題	道路施設の新設改良事業を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。			
事 業 所 管 課		建設部／土木課		

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	03過疎対策道路整備事業
細 事 業 名	01 過疎対策道路整備事業			決算書 P.274
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
40,982千円		88,223千円	47,241千円	46.4 % 112,153千円
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○道路新設改良 40,934千円			
	【継続】			
	(丹後町間人) 小泊東海岸線	L=79m	道路新設	5,660千円
	(丹後町上山) 上山新道線	L=278m	道路改良	24,417千円
	(久美浜町) 向町新町西線	L=170m	側溝改良	4,910千円
	(久美浜町甲山) 甲山兜山線	L=750m	道路拡幅	1,569千円
	【新規】			
	(久美浜町箱石) 葛野箱石線	L=160m	道路拡幅	1,296千円
	(久美浜町甲山) 甲山区内線	L=71m	側溝改良	3,082千円
	○事務費（旅費、消耗品費、有料道路通行料） 48千円			
参考		繰越明許費を除いた最終予算額	40,989千円	
		実質的な予算執行率	100.0%	
■平成29年度への繰越事業 47,234千円				
(丹後町間人) 小泊東海岸線 平成29年8月完成 14,340千円				
(久美浜町栄町) 向町新町西線 平成29年5月完成 9,090千円				
(久美浜町箱石) 葛野箱石線 平成29年12月完成予定 14,504千円				
(丹後町牧ノ谷) 宇川斎宮線 平成29年12月完了予定 9,300千円				
主 な 財 源	市債 道路改良事業債（過疎対策債）			39,400千円
成 果 ・ 課 題	通行に支障が生じている道路の改良のため道路改良事業を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。			
事 業 所 管 課		建設部／土木課		

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	03過疎対策道路整備事業
細 事 業 名		01 過疎対策道路整備事業（繰越）			決算書 P.276
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進			
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,765千円		6,075千円	2,310千円	61.9%	6,075千円
目的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。				
主要な 事務・事業の 概要	○道路新設改良 3,765千円				
	【継続】 (丹後町間人) 小泊東海岸線 L=79m 道路新設 3,765千円				
主な 財源	市債 道路改良事業債（過疎対策債） 3,600千円				
成果・ 課題	道路施設の新設改良を実施するための用地取得・登記を実施することにより、安心・安全な通行の確保に向け進捗を図った。				
事業所管課		建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業		
細 事 業 名	01 社会資本整備総合交付金事業				決算書	P.276
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進				
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
129,006千円	390,901千円	261,895千円	33.0 %	225,974千円		
目 的	社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良工事及び橋梁修繕工事を実施することで、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○道路新設改良 23,749千円					
	【継続】					
	(網野町切畑) 上石橋 L=13m		橋梁改築	11,787千円		
	(久美浜町口馬地) 枋谷口馬地線 L=114m		道路拡幅	7,332千円		
	【新規】					
	(網野町浜詰) 夕日港線 L=11m		擁壁修繕	1,325千円		
	(丹後町乗原) 筆石此代線 L=79m		落石防護柵修繕	3,305千円		
	○橋梁修繕工事 27,817千円					
	(峰山町荒山ほか) 新山橋、鳥取橋、宮前橋 27,817千円					
	○橋梁改築負担金 74,143千円					
	(網野町網野) 福田橋 (五反田東トン田線) 20,666千円					
	(網野町下岡) 中田橋 (中田線) 53,477千円					
○事務費 3,297千円						
(旅費、消耗品費、燃料費、有料道路通行料、積算システム保守委託料、研修負担金等)						
参考		繰越明許費を除いた最終予算額		129,167千円		
		実質的な予算執行率		99.9%		
■平成29年度への繰越事業 261,734千円						
・橋梁補修設計、調査 (7橋)		平成29年9月完成予定	29,712千円			
・新山橋ほか4橋		平成29年9月完成予定	62,552千円			
・長田妹線、消山分岐下線、枋谷口馬地線		平成29年10月完成予定	58,133千円			
・橋梁改築負担金(福田橋・十王堂橋)		平成30年3月完成予定	111,337千円			
主 な 財 源	国補	社会資本整備総合交付金 (6.5/10)			66,247千円	
	市債	道路改良事業債 (合併特例債)			51,500千円	
	市債	道路改良事業債 (過疎対策債)			2,800千円	
成 果 ・ 課 題	○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。					
事 業 所 管 課		建設部／土木課				

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	01 社会資本整備総合交付金事業（繰越）			決算書 P.276
総合計画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
77,409千円		85,084千円	7,675千円	90.9 % 85,084千円
目的	社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良工事及び橋梁修繕工事を実施することで、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。			
主要な事務・事業の概要	○道路新設改良 20,342千円			
	【継続】			
	(網野町郷) 郷新田岡線		L=107m 道路新設	7,834千円
	(久美浜町葛野) 鹿野第一横断線		L=192m 道路新設	6,960千円
	【新規】			
	(網野町網野) 長田妹線		L=590m 道路拡幅	5,548千円
	○橋梁修繕工事 36,854千円			
	(峰山町長岡) 米田橋			15,140千円
	(市内一円) 補修設計ほか (11橋)			21,714千円
	○橋梁改築負担金 20,213千円			
(網野町網野) 福田橋 (五反田東トン田線)			16,973千円	
(網野町下岡) 中田橋 (中田線)			3,240千円	
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金 (6/10)		36,439千円
	市債	道路改良事業債 (合併特例債)		32,600千円
	市債	道路改良事業債 (過疎対策債)		4,700千円
成果・課題	○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。			
事業所管課		建設部／土木課		

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細 事 業 名	02 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業)			決算書 P.276
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
53,793千円	63,302千円	9,509千円	84.9 %	63,302千円
目的	道路施設の適正な管理を行うために社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁、舗装、その他の付属物の点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕計画を作成する。			
主要な事務・事業の概要	○橋梁点検 53,793千円			
	橋梁点検業務（225橋） 53,793千円			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	53,805千円	
		実質的な予算執行率	100.0%	
	■平成29年度への繰越事業 9,497千円			
	・道路附属物点検業務（52基）	平成29年8月完成予定	7,000千円	
	・橋梁点検業務（4橋）	平成29年6月完成	2,497千円	
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金（6.5/10）		34,965千円
成果・課題	○道路事業と一体的に社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。今後も生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。 ○橋梁点検においては、残り399橋について、平成30年度までに点検を完了させる必要がある。			
事業所管課		建設部／土木課		

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細 事 業 名	02 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業) (繰越)			決算書 P.276
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
7,355千円		7,648千円	293千円	96.1 % 7,648千円
目 的	道路施設の適正な管理を行うために社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁、舗装、その他の付属物の点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕計画を作成する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○橋梁点検、舗装修繕計画策定 7,355千円 橋梁点検調書作成業務(65橋) 1,003千円 舗装修繕計画策定業務 6,352千円			
主 な 財 源	国補 社会資本整備総合交付金(6/10)			3,142千円
成 果 ・ 課 題	○道路事業と一体的に社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。			
事 業 所 管 課		建設部/土木課		

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業																					
細 事 業 名	01 除雪事業			決算書 P.276																					
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進																							
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実																							
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																					
381,141千円	385,982千円	4,841千円	98.7 %	170,042千円																					
目 的	速やかな除雪作業を行うことで、積雪時における円滑な道路交通を確保し、市民生活の安全・安心を確保する。																								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	除雪計画に基づき、市道及び府委託路線など関係機関と協力して速やかな除雪作業を行った。																								
	○平成28年度京丹後市除雪計画《概要》																								
	・除雪期間 平成28年12月1日～平成29年3月15日																								
	・作業実施基準 積雪深概ね10cm以上の降雪時に原則午前5時作業着手																								
	・除雪路線数及び延長 延べ 2,755路線、総延長 999.56km																								
	・配備除雪機械 279台（市有機械146台、レンタル機械43台、業者機械90台）																								
	・除雪作業委託契約相手方数 149団体（70業者、79地区）																								
	○除雪作業出動日数内訳																								
	<table><tr><td>町 名</td><td>全域出動</td><td>一部出動</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>6日</td><td>8日</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>7日</td><td>6日</td></tr><tr><td>網野町</td><td>3日</td><td>7日</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>3日</td><td>6日</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>5日</td><td>17日</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>3日</td><td>9日</td></tr></table>				町 名	全域出動	一部出動	峰山町	6日	8日	大宮町	7日	6日	網野町	3日	7日	丹後町	3日	6日	弥栄町	5日	17日	久美浜町	3日	9日
	町 名	全域出動	一部出動																						
峰山町	6日	8日																							
大宮町	7日	6日																							
網野町	3日	7日																							
丹後町	3日	6日																							
弥栄町	5日	17日																							
久美浜町	3日	9日																							
○除雪費用内訳																									
主 な 財 源	・除雪機械維持管理費 59,385千円																								
	・除雪作業委託料 263,407千円																								
	・排雪作業委託料 12,435千円																								
	・除雪機械レンタル料 45,208千円																								
	・除雪機械運転技能講習受講補助金 ※受講者22人（1/2補助） 176千円																								
	・その他（除雪車庫維持管理費・通信運搬費・印刷製本費） 530千円																								
	国補	社会資本整備総合交付金（2/3）	23,832千円																						
	府委	府道除雪作業委託金	39,682千円																						
	府委	歩道除雪作業委託金	1,832千円																						
	府委	丹後縦貫林道除雪作業委託金	436千円																						
諸収入	伊根町風力発電所除雪作業委託金	112千円																							
成 果 ・ 課 題	○除雪作業を行うことで、市民生活の安全・安心に資することができた。 ○除雪委託業者が減少傾向にあるため除雪業者の確保に努める必要がある。 ○通常時の除雪計画に加え、大雪時の除雪体制として、通行規制及び排雪作業を盛り込んだ除雪計画に見直す必要がある。																								
事 業 所 管 課		建設部／管理課																							

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業	
細 事 業 名	02 除雪機械等整備事業				決算書 P.276
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進			
	(旧計画項目)	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
26,883千円		26,884千円	1千円	99.9 %	34,500千円
目 的	大型除雪機械や地区へ貸与する小型除雪機械を購入し、除雪体制を整える。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	除雪機械の新規配備及び老朽化の著しい除雪機械の更新を行った。				
	○自治会貸与除雪機械（2台） ・久美浜町浦明区（3 t 級）・久美浜町口三谷区（3 t 級）				7,875千円
	○業者貸付除雪機械（2台） ・網野町地域（8 t 級）・久美浜町地域（8 t 級）				18,576千円
	○府から購入した除雪機械（2台） ・除雪ドーザ車輪式（13 t 級）				432千円
主 な 財 源	市債	除雪機械等整備事業債（合併特例債）			8,800千円
	市債	除雪機械等整備事業債（過疎対策債）			17,100千円
成 果 ・ 課 題	○積雪時の円滑な除雪を行うため、市内全域に除雪機械を配備し、冬季における安心・安全な市民生活の維持に資することができた。 ○老朽化した除雪機械の計画的な更新を進める必要がある。 ○受託業者の保有機械の減少に対応するため、除雪で使用する重機等の確保に努め、除雪体制の維持を図る必要がある。				
事 業 所 管 課		建設部／管理課			

予 算 科 目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業	
細 事 業 名	01 急傾斜地崩壊対策事業			決算書	P.278
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
5,000千円		5,000千円	0千円	100.0 %	10,000千円
目的	急傾斜地崩壊対策事業を推進し、住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消することで、災害から市民の生活・財産を守る。				
主要な事務・事業の概要	京都府が実施する丹後町平地区及び網野町小浜地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して負担金を支出した。				
	○急傾斜地崩壊対策事業負担金				2,250千円
	(丹後町平)				
	総事業費：5,000千円 事業内容：用地買収、文化財調査 市負担金：250千円 (5,000千円 × 5%)				
主要な事務・事業の概要	(網野町小浜)				
	総事業費：20,000千円 事業内容：測量、地質調査、詳細設計 市負担金：2,000千円 (20,000千円 × 10%)				
	○土砂対策（急傾斜）事業負担金				750千円
	(網野町小浜)				
主要な事務・事業の概要	総事業費：7,500千円 事業内容：測量、地質調査、詳細設計 市負担金：750千円 (7,500千円 × 10%)				
	○災害関連緊急土砂対策（急傾斜）事業負担金				2,000千円
	(丹後町平)				
	総事業費：10,000千円 事業内容：用地買収、文化財調査 市負担金：2,000千円 (10,000千円 × 20%)				
主な財源	市債	急傾斜地崩壊対策事業債（合併特例債）			4,700千円
成果・課題	○急傾斜地崩壊対策事業を実施したことにより、急傾斜地の崩壊による災害の防止が図られた。 ○京都府が策定した優先度評価による中長期整備計画に基づき、計画的に事業実施する必要がある。				
事業所管課		建設部／管理課			

予 算 科 目	08土木費	03河川費	01河川総務費	50河川総務一般経費
細 事 業 名	01 河川総務一般経費			決算書 P.278
総 合 計 画	計 画 項 目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
118千円		142千円	24千円	83.0 % 142千円
目 的	河川管理を実施する上で必要な事務的経費。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	河川事業に必要な協会への負担金を支出した。 ○京都府砂防・治水・防災協会会費 118千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	適切な事務の執行により、河川事業を実施することができた。			
事 業 所 管 課		建設部／管理課		

予 算 科 目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業																							
細 事 業 名	01 河川維持補修事業			決算書 P.278																							
総 合 計 画	計 画 項 目	5 次世代への美しい自然環境の継承																									
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承																									
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																							
63,938千円		65,664千円	1,726千円	97.3 % 50,699千円																							
目 的	河川の除草を行うことにより、河川環境及び景観を保全するとともに通水断面を確保し、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。																										
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○河川維持修繕 532千円																										
	・清水川（丹後町成願寺） 262千円 ・佐野川（久美浜町佐濃） 270千円																										
	○河川維持工事 10,964千円																										
	・中川（峰山町矢田） L=37m 護岸修繕 2,396千円																										
	・汁谷川（網野町高橋） L=23m 護岸修繕 3,061千円																										
	・成願寺川（丹後町成願寺） L=166m 浚渫 1,086千円																										
	・吉野川（弥栄町須川） L=70m 浚渫 2,790千円																										
	・来見谷川（弥栄町須川） L=35m 浚渫 853千円																										
	・周枳水路（大宮町周枳） L=8m 護岸修繕 778千円																										
	○河川環境整備委託料（府管理河川） 51,300千円																										
委託先：自治区、作業単価：25円/㎡ (単位：団体、千円)																											
<table><tr><td>町 名</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>団体数</td><td>19</td><td>11</td><td>15</td><td>9</td><td>13</td><td>47</td><td>114</td></tr><tr><td>金 額</td><td>5,363</td><td>3,805</td><td>2,096</td><td>7,618</td><td>9,218</td><td>23,200</td><td>51,300</td></tr></table>				町 名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	団体数	19	11	15	9	13	47	114	金 額	5,363	3,805	2,096	7,618	9,218	23,200	51,300
町 名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																				
団体数	19	11	15	9	13	47	114																				
金 額	5,363	3,805	2,096	7,618	9,218	23,200	51,300																				
○市管理河川草刈委託料 966千円																											
委託先：自治区等、作業単価：25円/㎡ (単位：団体、千円)																											
<table><tr><td>町 名</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>団体数</td><td>6</td><td>2</td><td>5</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>19</td></tr><tr><td>金 額</td><td>372</td><td>154</td><td>112</td><td>50</td><td>97</td><td>181</td><td>966</td></tr></table>				町 名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	団体数	6	2	5	1	2	3	19	金 額	372	154	112	50	97	181	966
町 名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																				
団体数	6	2	5	1	2	3	19																				
金 額	372	154	112	50	97	181	966																				
○湯川放水路樋門管理委託料（網野町木津地区） 176千円																											
<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>64,129千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.7%</td></tr></table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	64,129千円	実質的な予算執行率	99.7%																			
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	64,129千円																									
	実質的な予算執行率	99.7%																									
■平成29年度への繰越事業																											
・堂の谷川（丹後町此代） 平成29年11月完成予定 1,535千円																											
主 な 財 源	府委	河川環境整備費委託金（10/10）		51,300千円																							
	府委	湯川放水路樋門管理委託金（10/10）		176千円																							
成 果 ・ 課 題	○河川に繁茂する雑草を除去するなどの環境整備を行うことにより、河川景観の保全及び災害・事故等の未然防止に資することができた。 ○河川の草刈作業に従事する区民の高齢化等により、作業の実施が困難な地区があるため、実施体制等について、京都府と検討する必要がある。																										
事 業 所 管 課		建設部／管理課、土木課																									

予 算 科 目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業
細 事 業 名	01 河川維持補修事業（繰越）			決算書 P.280
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
6,003千円		6,100千円	97千円	98.4 % 6,100千円
目 的	浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○河川維持工事 6,003千円 (峰山町赤坂) 井ノ谷川 L=31m 護岸修繕 1,561千円 (網野町郷) 公庄川 L=7m 床止修繕 4,442千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	河川施設の維持修繕工事を実施し、災害等の発生を未然に防止することができた。			
事 業 所 管 課		建設部／土木課		

予 算 科 目	08土木費	03河川費	03河川新設改良費	01河川改修事業
細 事 業 名	01 河川改修事業			決算書 P.280
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
4,804千円	16,000千円	11,196千円	30.0 %	0千円
目的	通水等に支障が生じている河川施設の改修を行い、浸水被害、災害等の発生を未然に防止する。			
主要な事務・事業の概要	○河川改修 4,804千円			
	(峰山町赤坂) 大糸川	L=60m 護岸整備	3,238千円	
	(大宮町周枳) 鶴川	L=80m 河川改修	799千円	
	(網野町三津) 尺田川	L=80m 河川改修	767千円	
	参考		繰越明許費を除いた最終予算額	4,805千円
		実質的な予算執行率	100.0%	
	■平成29年度への繰越事業 11,195千円			
	(大宮町周枳) 鶴川	平成29年9月完成予定	7,963千円	
	(網野町三津) 尺田川	平成29年9月完成予定	3,232千円	
主な財源	市債	河川整備事業債（合併特例債）		4,600千円
成果・課題	河川施設の改修工事を実施することにより浸水被害、災害等の発生の未然防止に向け進捗を図った。			
事業所管課		建設部／土木課		

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費
細 事 業 名	01 都市計画総務一般経費			決算書 P.280
総 合 計 画	計 画 項 目	12 快適な都市空間の形成		
	(旧計画項目)	14 計画的な土地利用の推進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
455千円		591千円	136千円	76.9 % 560千円
目 的	公共の福祉と地域の活性化をめざし、都市計画業務の推進及び都市計画審議会の運営に係る事務を円滑に進める。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	都市計画業務（事業）を推進する上で必要な事務を実施した。 ○都市計画審議会の開催（1回） 47千円 ・ 委員報酬 44千円 （4,000円×11人） ・ 費用弁償 3千円 ※委員数19人（報酬支払対象16人） ○都市計画関連団体会費（4団体） 68千円 ○その他事務の経費 340千円 職員旅費、書籍代、有料道路通行料、研修参加負担金 久美浜一区街なみ整備施設管理費（公園水道代、街路灯保険料）			
主 な 財 源	府補 土地利用規制対策費交付金			46千円
成 果 ・ 課 題	○都市計画審議会を開催し、土地利用や都市施設など個別の都市計画の指針となる都市計画マスタープラン（平成28年7月）を策定した。 ○本計画の将来都市構造の推進に向け、都市計画マスタープランに基づき、個別の都市計画の具体化について検討する必要がある。			
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課		

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	01都市下水路維持整備事業
細 事 業 名	01 都市下水路維持整備事業			決算書 P.282
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
12,868千円		13,430千円	562千円	95.8 % 16,348千円
目 的	災害に強いまちづくりを推進するため、都市下水路施設の維持管理を行い、住宅等への浸水被害を低減する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	網野都市下水路ポンプ施設等の点検及び修繕を実施するとともに、風呂川と小栓川の護岸維持工事を実施した。 ○網野ポンプ施設維持管理経費 7,754千円 ・ 電気、水道代 4,340千円 ・ 修繕料 602千円 ・ 監視装置電話回線、メール配信 284千円 ・ 電気工作物保安管理委託 715千円 ・ 機械設備等点検委託 1,728千円 ・ その他（保険料、ごみ処理代、消耗品） 85千円 ○網野下水路維持管理経費 2,743千円 ・ 堆積土除去業務 1,803千円 ・ 草刈、浚渫業務 930千円 ・ 小栓川用地賃借料 10千円 ○工事請負費 2,371千円 ・ 護岸維持工事（風呂川、小栓川） 2,371千円			
主 な 財 源	使用料 都市下水路占用料			117千円
成 果 ・ 課 題	○施設を適切に維持管理することにより、浸水被害の低減に貢献することができた。 ○網野都市下水路全般において経年劣化が見られるため、小栓川排水区の整備をはじめ、今後も計画的に修繕を行っていく必要がある。			
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課		

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業	
細 事 業 名	01 内水処理対策事業				決算書 P.282
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
117,461千円	202,846千円	85,385千円	57.9 %	138,586千円	
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。				
主要な 事業・ 事業の 概要	○委託料 116,941千円 ・内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事 110,008千円 ・内ヶ森雨水ポンプ場竣工式 313千円 ・二級河川新庄川河川改修に係る椎木谷川吐口検討業務 6,620千円 ○事務費（旅費、消耗品費、燃料費、備品購入費等） 520千円				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		117,574千円	
		実質的な予算執行率		99.9%	
	■平成29年度への繰越事業 85,272千円 ・内ヶ森第1雨水ポンプ場水処理施設工事 平成29年6月完成 9,492千円 ・小栓川、松原雨水幹線測量業務委託 平成29年9月完成予定 13,080千円 ・小栓川雨水ポンプ場設計業務 平成29年12月完成予定 62,700千円				
主な 財源	国補 市債	浸水対策下水道事業費補助金 (5/10) 都市下水路整備事業債（合併特例債）			47,975千円 65,500千円
成果 ・ 課題	○内ヶ森第1雨水ポンプ場が竣工し、内ヶ森排水区の浸水被害対策が図れた。 ○網野町地内の小栓川排水区の事業に着手し、浸水被害軽減に向けて進捗を図るとともに、早期に効果が発現するよう効率的に事業を実施する必要がある。				
事業所管課		建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業	
細 事 業 名	01 内水処理対策事業（繰越）				決算書 P.282
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
116,251千円		118,261千円	2,010千円	98.3 %	118,261千円
目 的	社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○委託料116,251千円 ・内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事111,510千円 ・内水処理対策事業許認可設計業務4,741千円				
主 な 財 源	国補 市債	浸水対策下水道事業費補助金 (5/10) 都市下水路整備事業債（合併特例債）			55,400千円 53,200千円
成 果 ・ 課 題	内ヶ森第1雨水ポンプ場が竣工し、内ヶ森排水区の浸水被害対策が図れた。併せて、網野町地内の浸水被害対策へ向けて事業計画を策定し進捗を図った。				
事 業 所 管 課		建設部／土木課			

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.284
総合計画	計画項目	12 快適な都市空間の形成		
	(旧計画項目)	14 計画的な土地利用の推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
107,650千円		117,772千円	10,122千円	91.4 % 51,693千円
目的	都市公園の峰山途中ヶ丘公園、峰山総合公園及び八丁浜シーサイドパークを適正に維持管理し、市民が快適で安心・安全に利用できるようにする。			
主要な事務・事業の概要	指定管理による適切な施設管理と利用者サービスの向上を図る事業を実施した。			
	○峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園維持管理経費		33,575千円	
	・指定管理委託料		29,700千円	
	・用地賃借料（借上面積：1,995㎡）		203千円	
	・備品購入（峰山総合公園：乗用草刈機、軽トラック）		2,845千円	
	・その他（修繕料、公認手数料、看板電気代、保険料他）		827千円	
	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費		15,713千円	
	・指定管理委託料		15,606千円	
	・その他（修繕料・保険料）		107千円	
	○工事請負費他		58,362千円	
・峰山総合公園テニスコート照明用操作盤取替工事		1,556千円		
・八丁浜シーサイドパーク屋外照明灯改修工事		556千円		
・京丹後夢球場スコアボード改修整備工事（前払・部分払）		56,250千円		
(参考) 都市公園利用状況				
施設名		利用数	利用料金	
峰山途中ヶ丘公園		25,142人	656千円	
峰山総合公園		19,898人	2,032千円	
施設名		利用数	利用料金	
八丁浜シーサイドパーク		23,630人	159千円	
八丁浜有料駐車場		7,608台	3,804千円	
参考		繰越明許費を除いた最終予算額		107,685千円
		実質的な予算執行率		100.0%
■平成29年度への繰越事業		10,087千円		
・京丹後夢球場スコアボード改修整備工事 他		平成29年5月完成		
主な財源	使用料	都市公園占用料	13千円	
	使用料	都市公園使用料	551千円	
	市債	都市公園整備事業債（合併特例債）	55,400千円	
成果・課題	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。 ○都市公園施設の老朽化対策として、適切な点検や計画的な補修、更新を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。			
事業所管課		建設部／都市計画・建築住宅課		

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業（繰越）			決算書 P.284
総合計画	計画項目	12 快適な都市空間の形成		
	(旧計画項目)	14 計画的な土地利用の推進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
6,264千円		6,264千円	0千円	100.0 % 6,264千円
目的	峰山総合公園峰山球場の劣化したラバーフェンスを改修し、利用者が安全で安心して利用できるようにする。			
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 6,264千円 - 京丹後夢球場ラバーフェンス改修工事 6,264千円 - ラバークッション張替え L=120m			
主な財源				
成果・課題	球場利用者の安全で安心な利用に資することができた。			
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費		04都市計画費	04下水道整備費	01公共下水道事業特別会計繰出金		
細 事 業 名	01 公共下水道事業特別会計繰出金				決算書	P.284	
総 合 計 画	計 画 項 目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備					
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
759,000千円		759,000千円	0千円	100.0 %	759,000千円		
目 的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に公共下水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	一般会計から公共下水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。						
	[繰出金の主な内容] (単位：千円)						
	項 目	公共下水	特環下水	合 計	備 考		
	基 準 内	起債元金償還金	17,477	22,741	40,218		
		起債利子償還金	5,385	6,017	11,402		
		分流式下水道等経費	105,094	77,177	182,271		
		高資本対策経費	35,139	31,317	66,456		
		児童手当	1,556	140	1,696		
	小 計	164,651	137,392	302,043			
	基 準 外	起債元金償還金	242,772	214,185	456,957		
施設維持管理費		0	0	0			
建設改良費		0	0	0			
小 計		242,772	214,185	456,957			
合 計	407,423	351,577	759,000				
主 な 財 源							
成 果 ・ 課 題							
事 業 所 管 課		上下水道部／下水道整備課					

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	04下水道整備費	02雨水貯留槽設置事業	
細 事 業 名	01 雨水貯留槽設置事業補助金				決算書 P.284
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
86千円		86千円	0千円	100.0 %	0千円
目 的	網野町地内において、地域住民による雨水の流出抑制のため雨水貯留施設の設置に対して助成することにより、浸水被害の軽減を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○負担金、補助及び交付金 86千円				
	・ 雨水貯留槽設置補助金（2基） 86千円				
	※補助率 ：4分の3（上限：45,000円）				
	※対象区域：網野町網野、浅茂川、下岡の一部区域				
主 な 財 源	府補	雨水貯留施設設置事業費補助金（1/3）			28千円
成 果 ・ 課 題	地域住民による雨水の流出抑制のため雨水貯留施設の設置に対して助成することにより、浸水被害の軽減に向け進捗が図れた。				
事 業 所 管 課		建設部／土木課			

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	02市営住宅維持管理事業	
細事業名	01 市営住宅維持管理事業				決算書 P.286
総合計画	計画項目	14 安全でうるおいのある住環境の形成			
	(旧計画項目)	16 安全でうるおいのある住環境の整備			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
139,176千円		139,283千円	107千円	99.9%	141,429千円
目的	公営住宅と特定公共賃貸住宅の建物や施設に係る維持管理を行い、入居者へ良好な住宅を提供し、生活の安定と社会福祉の増進を図る。				
主要な事務・事業の概要	公営住宅法に基づき市営住宅371戸と特定公共賃貸住宅4戸の建物や施設に係る維持管理を行った。				
	○修繕、環境整備				8,519千円
	・退去及び維持修繕（114件）				7,499千円
	・草刈、材木伐採、施設清掃				1,020千円
	○清掃保守点検				123千円
	浄化槽検査、消防設備点検、貯水槽清掃点検				
	○土地借上料（市営住宅6団地）				2,796千円
	※用地借上面積：11,026.39㎡				
	○堤団地（南棟）改修工事監理、意図伝達業務委託				3,627千円
	○工事請負費				121,994千円
・堤団地（南棟）改修工事（RC造3階建12戸）				117,089千円	
・屋根葺替工事（小浜団地1戸、後ヶ浜団地2戸、成願寺団地1戸）				2,423千円	
・屋上防水改修工事（谷替団地1戸）				1,002千円	
・解体工事（長浜団地1戸、三坂団地1戸）				1,480千円	
○その他経費				2,117千円	
消耗品費、電気・ガス・水道代、家電借上料、保険料ほか					
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年分			9,579千円
	国補	社会資本整備総合交付金			45,990千円
	国補	公的賃貸住宅家賃対策調整補助金（1/2）			2,130千円
	市債	市営住宅改修事業債（公営住宅建設事業債）			74,600千円
成果・課題	○堤団地（南棟）の大規模改善事業を実施し、居住者の住環境の整備を行うことができた。また、解体工事により、管理戸数を2戸減らすことができた。 ○老朽化の進んだ団地について、公営住宅ストック総合活用計画に基づき、住宅の改善、建替及び用途廃止を推進して、安心して暮らせる住宅を確保する必要がある。				
事業所管課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	04空家等対策事業		
細 事 業 名	01 空家等対策事業				決算書	P.286
総 合 計 画	計 画 項 目	14 安全でうるおいのある住環境の形成				
	(旧計画項目)	16 安全でうるおいのある住環境の整備				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
561千円	575千円	14千円	97.5 %	396千円		
目的	空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の安全安心の確保、生活環境の保全、空家等の活用促進を図る。					
主要な事務・事業の概要	空家等対策協議会を設置し協議を進め、空家等対策計画を策定した。 ○空家等対策協議会の開催（5回）349千円 ・委員報酬 238千円（14千円 × 延べ9人、4千円 × 延べ28人） ・費用弁償 111千円 ※委員数9人（報酬支払対象8人） ○その他事務の経費 職員旅費、消耗品、有料道路通行料、研修参加負担金212千円 空家等対策協議会（京丹後市空家等対策協議会条例に基づき設置） 会長：市長 委員：区長連絡協議会2人、京都弁護士会、京都司法書士会 京都土地家屋調査士会、（公財）京都府宅地建物取引業協会 （一社）京都府建築士会、立命館大学、京都府丹後土木事務所 京丹後市空家等対策計画（平成29年2月策定） 計画期間：平成29年度～平成32年度（4年間） 内容：基本的な方針、調査事項、管理促進事項、活用促進事項、特定空家等処置事項、相談対応事項、実施体制、その他					
主な財源						
成果・課題	○空家等対策計画を策定し、法を補完する空家等対策の推進に関する条例を制定した。 ○計画及び条例に基づき、空家等の管理促進、活用促進、特定空家等の処置を実施していく必要がある。					
事業所管課		建設部／都市計画・建築住宅課				

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	05久借定住促進住宅維持管理事業	
細 事 業 名	01 久借定住促進住宅維持管理事業			決算書	P.286
総 合 計 画	計 画 項 目	14 安全でうるおいのある住環境の形成			
	(旧計画項目)	16 安全でうるおいのある住環境の整備			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
88千円		89千円	1千円	98.8 %	357千円
目 的	丹後定住促進住宅久借団地の適切な維持管理を図り、丹後町宇川地域の定住を促進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	丹後定住促進住宅の適切な維持管理に努めた。				
	棟数：3棟				
	○火災保険料・浄化槽検査手数料			41千円	
	○修繕料			47千円	
主 な 財 源	使用料 市営住宅使用料現年度分				62千円
成 果 ・ 課 題	○3棟の内、1棟は建設当初、2棟は平成25年度からの入居であり、当該地域の定住に寄与している。 ○当該住宅は、平成12年度、平成13年度の建築であり、今後修繕費の増加が見込まれるため、計画的な修繕を図る必要がある。				
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	50住宅一般経費	
細 事 業 名	01 住宅一般経費				決算書 P.288
総 合 計 画	計 画 項 目	14 安全でうるおいのある住環境の形成			
	(旧計画項目)	16 安全でうるおいのある住環境の整備			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,151千円		1,249千円	98千円	92.1 %	1,127千円
目 的	市営住宅の維持管理及び建築事業に係る事務を円滑に進める。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市営住宅の家賃算定や入居・退去等に係る事務を実施した。				
	○市営住宅入居者選考委員会の開催（2回）				63千円
	・ 委員報酬 56千円（4,000円×延べ14人）				
	・ 費用弁償 7千円				
	※委員数8人（報酬支払い対象7人）				
	○公営住宅管理システム保守委託料				146千円
	○建築事業事務経費				497千円
	・ 建築積算ソフトウェア借上料				490千円
	・ 建築関係講習会負担金				7千円
	○その他事務経費				445千円
職員旅費、書籍代、印刷代、有料道路通行料ほか					
主 な 財 源	使用料	市営住宅使用料現年分			1,144千円
成 果 ・ 課 題	市営住宅の入居募集を3回実施し、住宅に困窮する方への住宅提供ができた。				
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目		08土木費	05住宅費	03住宅耐震事業費	01住宅・建築物耐震改修等事業		
細 事 業 名 01 住宅・建築物耐震改修等事業						決算書	P.288
総 合 計 画		計 画 項 目	14 安全でうるおいのある住環境の形成				
		(旧計画項目)	16 安全でうるおいのある住環境の整備				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額		
7,702千円		7,759千円	57千円	99.2 %	8,388千円		
目 的	住宅の耐震化率を引き上げ、地震時における人的被害を低減するとともに、建物倒壊による道路の閉塞を防ぐ。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	国の「建築物の耐震化緊急対策方針」を受け、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断や耐震改修に係る費用の助成を行った。						
	○事務費（職員旅費、書籍購入）			102千円			
	○木造住宅耐震診断委託料			1,000千円			
	50千円×20件（国費、府費補助対象10件）						
	業務内容 木造住宅耐震診断士による木造住宅の耐震性の判定						
	対象建物 昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた住宅						
	費用負担 診断料53千円のうち、市が50千円、申請者が3千円を負担						
	○木造住宅耐震改修補助金			6,300千円			
	900千円×7件						
	補助内容 昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものを、耐震改修によりそれ以上とする工事に対して補助						
補助金		改修工事等に要した費用の4分の3の額（その額が900千円を超え るときは900千円を限度）					
○木造住宅簡易耐震改修補助金			300千円				
300千円×1件							
補助内容 昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものを、部分的な改修により耐震性が向上する工事に対して補助（屋根の軽量化・壁補強等）							
補助金		改修工事等に要した費用の4分の3の額（その額が300千円を超え るときは300千円を限度）					
主 な 財 源	国補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/2、耐震改修1/4）				1,900千円	
	府補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/4、耐震改修1/2）				3,425千円	
成 果 ・ 課 題	○耐震診断士派遣及び耐震改修工事により耐震化率が向上し、市民の安全・安心な住まい整備につながった。 ○平成29年2月に「京都府建築物耐震改修促進計画」が策定されたことを受け、平成29年度に市の「建築物耐震改修促進計画」を見直すとともに、建物改修による耐震化率の向上及び京都府の計画に基づく耐震シェルターの設置など減災化住宅率の向上を進める必要がある。						
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課					

予 算 科 目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	01アメニティース美浜管理事業	
細 事 業 名	01 アメニティース美浜管理事業			決算書	P.288
総 合 計 画	計 画 項 目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
2,032千円	2,277千円	245千円	89.2 %	2,277千円	
目 的	アメニティース美浜公園を適正に管理し、市民及び観光客へ憩いの場を提供する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○維持管理費 291千円 電気料、水道料、街路灯修繕等				
	○アメニティース美浜公園管理委託料 1,741千円 草刈業務、芝生管理、トイレ清掃				
	アメニティース美浜（全体面積28,154.39㎡） 京都府と京丹後市が整備した施設を一体的に管理しているものであり、 京都府施設の管理に係る経費については、京都府から委託金を受ける。 (面積内訳) 京都府 10,575.29㎡ 京丹後市 17,579.10㎡				
主 な 財 源	府委	アメニティース美浜管理委託金			1,598千円
成 果 ・ 課 題	アメニティース美浜公園の適正な管理により、市民や観光客へ憩いの場を提供し、地域活性化に寄与した。				
事 業 所 管 課		建設部／管理課			

予 算 科 目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費	
細 事 業 名	01 港湾総務一般経費				決算書 P.288
総 合 計 画	計 画 項 目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,337千円		1,392千円	55千円	96.0 %	1,516千円
目 的	久美浜港湾の漂着ゴミ等の清掃業務を行い、港湾環境及び景観を保全する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○久美浜港湾清掃業務委託料1,130千円 港湾隣接地区へ委託 (葛野、長柄、浦明、神崎、西本町、十楽、湊宮地区) ○十楽埋立地管理委託費(草刈作業)57千円 ○全国海岸協会負担金30千円 ○京都府海岸協会負担金70千円 ○日本港湾協会負担金50千円				
主 な 財 源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金1,129千円				
成 果 ・ 課 題	○京都府から受託した久美浜港湾内の清掃業務について、港湾に隣接している自治会へ再委託し、港湾の環境保全を図ることができた。 ○豪雨時等に河川から港湾に流れ込む大量の漂着ゴミの堆積に緊急対応が出来るよう京都府に要請する必要がある。				
事 業 所 管 課		建設部／管理課			

予 算 科 目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務	
細 事 業 名	01 消防本部総務業務				決算書 P.290
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
9,608千円		9,741千円	133千円	98.6 %	10,087千円
目 的	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー代、電話代等の支払い事務を行った。 消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。 ※消防吏員95人（平成29年3月末現在） ○旅費 622千円 ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○消耗品費 5,527千円 ・現任職員貸与被服等購入費（制服、活動服、救助服等） 1,799千円 ・平成29年度新規採用職員貸与被服等購入費（制服等） 1,700千円 ・仮眠寝具等購入費 453千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 1,575千円 ○通信運搬費 1,541千円 ・電話料金、郵便料金、久美浜有線放送料金等 ○肝炎ウイルス検診委託料等（平成28年度新規採用職員 6人） 154千円 ○職員健康診断委託料 750千円 ・潜水業務健康診断（11人） ・B型・C型肝炎抗体検査（71人） ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断（交代制勤務者 73人） ○コピー機借上料、印刷機借上料、テレビ受信料等 484千円 ○全国消防長会等負担金等 401千円 ○その他事務経費等 129千円				
主 な 財 源	諸収入 緊急消防援助隊活動経費負担金・消防広域応援交付金				2千円
成 果 ・ 課 題	○職員の健康・安全管理を適切に行うことで、24時間体制の常備消防活動を維持・運用することができた。 ○事務用品、消耗品等の発注を本部総務課で一括して行うなど経費の削減に努めることができた。				
事 業 所 管 課		消防本部／総務課			